

問 12. あなたの生活全体に対する実感について、お気持ちをお聞きます。

総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。

（１）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 66.9%を占め、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 23.7%となっている。

（２）年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 80.1%（うち「はい」が 37.3%）と、他の年代よりも高くなっている。

（３）性別

男女間で大きな差は見られない。

（４）－１ 地域別

地域間の大きな差は見られない。

（４）－２ 現在の住居状況別

「一戸建て（自己・家族所有）」では『はい』が 67.4%を占めている。

（４）－３ 現在の居住地域環境別

「家屋や商業施設が混在している市街地」では『はい』が 71.0%と、他の居住地域環境よりも若干高い。一方、「山間地域」では『はい』が 55.6%と、他の居住地域環境よりも低い。

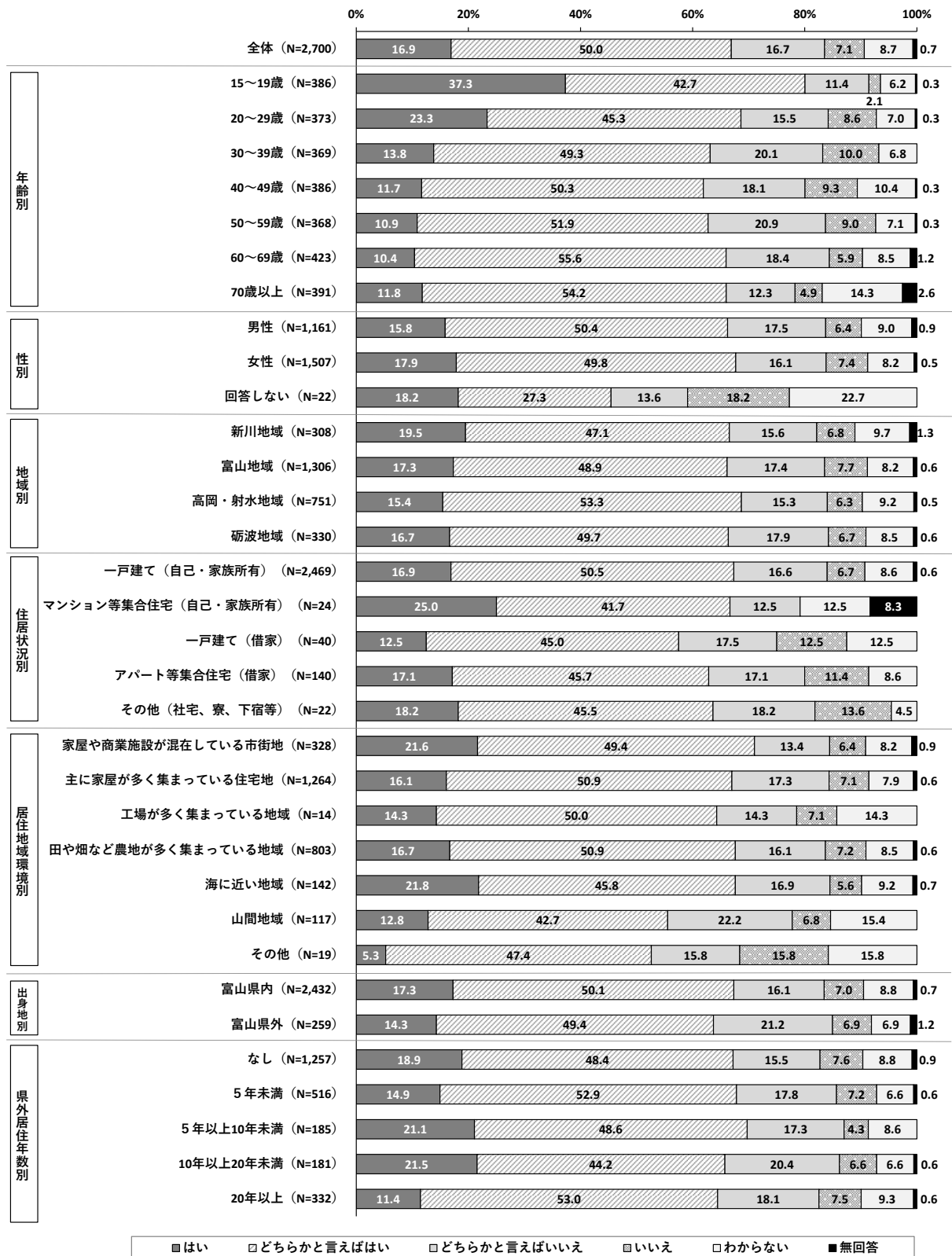
（４）－４ 出身地別

『はい』は「富山県内」の方が 3.7 ポイント高い。

（４）－５ 県外での居住年数別

「5 年以上 10 年未満」と「10 年以上 20 年未満」では「はい」が 21%台と、他の居住年数よりも若干高くなっている。

図表 12-1 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

(5) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が61.1%と、他と比較して若干低い。

(5) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が23.5%と「いる」よりも11.4ポイント高い。

(5) - 3 ペットの有無別

ペットの有無で大きな差は見られないが、「暮らしている」では『はい』が69.5%と、「暮らしていない」よりも3.4ポイント高い。

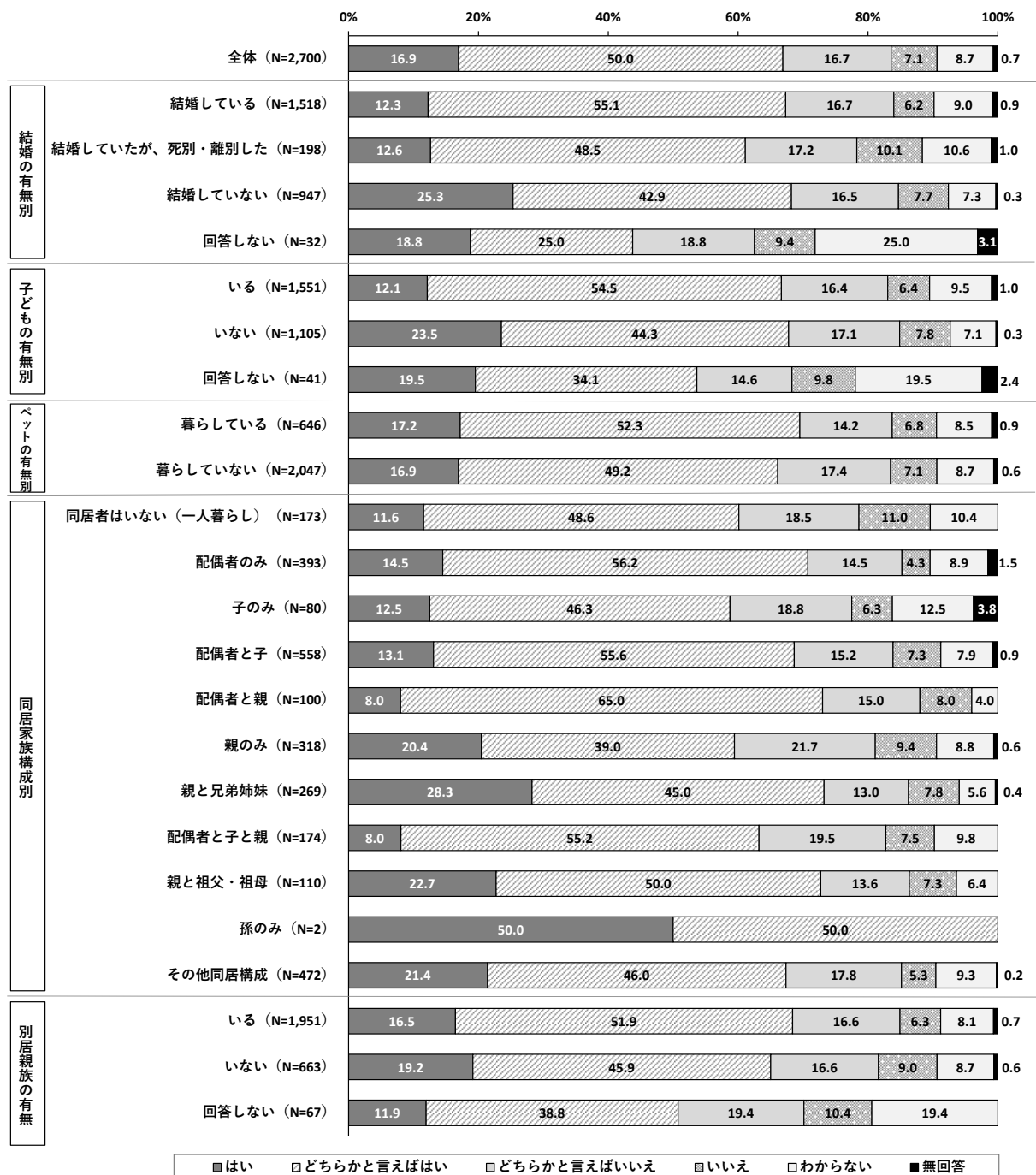
(5) - 4 同居家族の構成別

「配偶者のみ」「配偶者と親」「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」では『はい』が7割台となっており、他よりも若干高い。

(5) - 5 別居親族の有無別

別居親族の「いる」「いない」ともに『はい』が6割台となっており、「いる」の方が3.4ポイント高い。

図表 12-2 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。（家族状況別）



(6) - 1 職業別

「学生」では『はい』が79.3%（うち「はい」が35.6%）と他の職業と比べて高い。一方、「無職」では『はい』が53.7%、『いいえ』が29.1%となっている。

(6) - 2 職業分野別

「農林漁業」「金融業・保険業」「医療、福祉」「公務」では『はい』が7割台となっており、他の職業分野よりも若干高い。

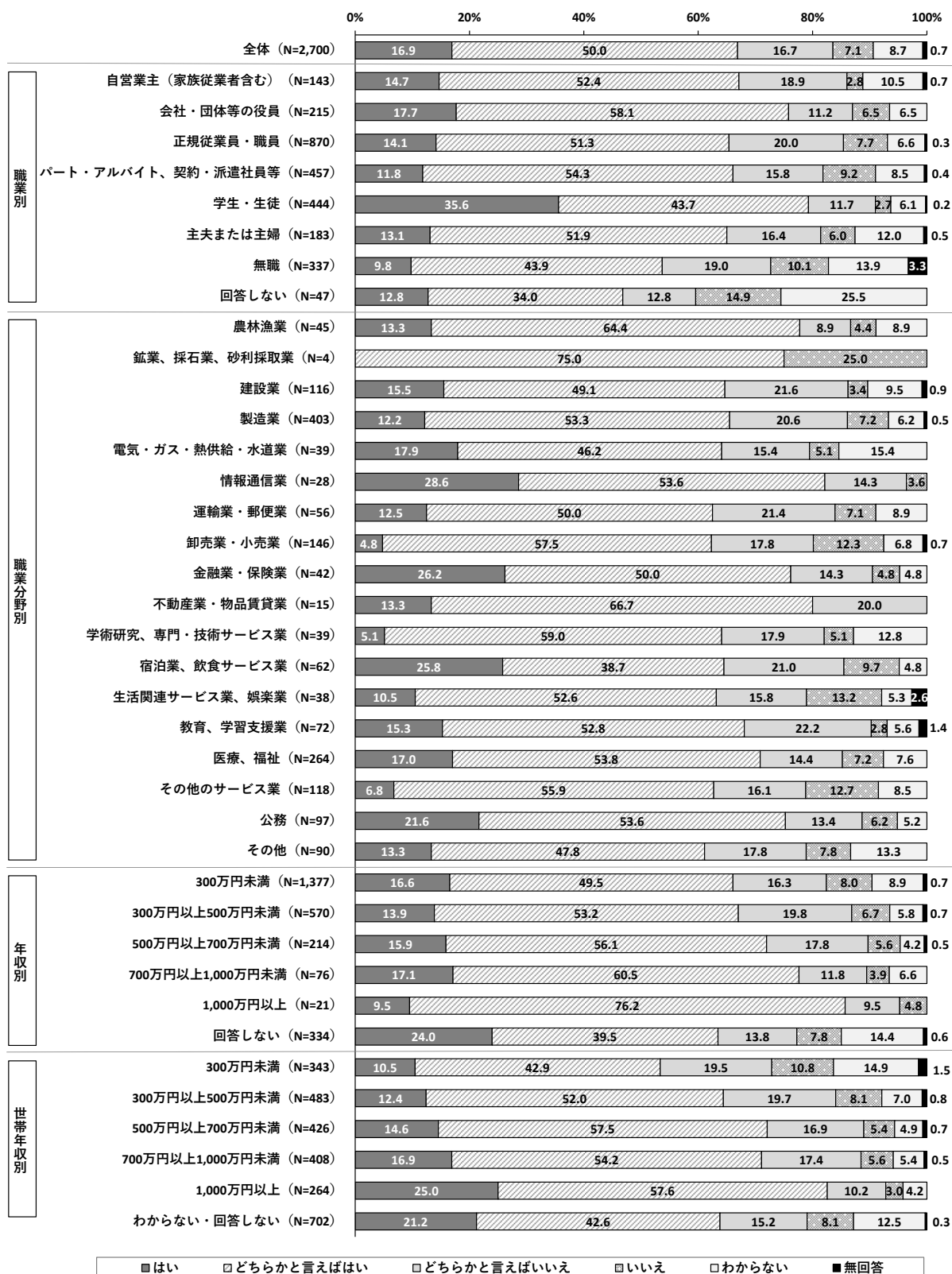
(6) - 3 年収別

年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「700万円以上1,000万円未満」では『はい』が77.6%となっている。

(6) - 4 世帯年収別

世帯年収が高くなるほど『はい』が高くなる傾向にあり、「1,000万円以上」では82.6%を占めている。一方、「300万円未満」では『はい』が53.4%と、他と比較して低い。

図表 12-3 総合的に、生活が整っている（仕事など社会活動や、余暇活動など、様々な面のバランスや調和がとれている）と感じている。（職業・年収別）



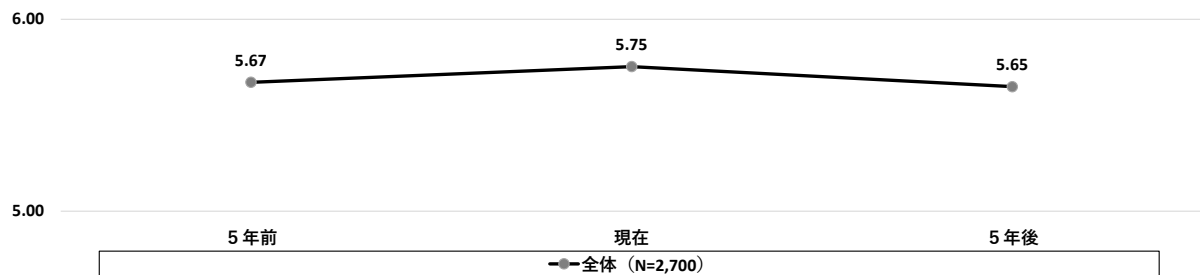
問 13. あなたにとって、最も理想的な生活であると思う状態を「10」、最悪であると思う状態を「0」として、「10」～「0」の11段階で表現すると、
 ①現在、あなた自身は、どの程度の状態であると感じていますか。
 また、②5年前は、どの程度の状態であったと思いますか。
 そして、あなたの想像では、③5年後どういう状態になっていると思いますか。
 それぞれの設問につき1つ、あてはまる段階を選んで○をつけてください。

(1) 全体

【平均】

「5年前」の5.67から「現在」は5.75と若干上向きになったが、「5年後」には5.65と「5年前」の水準に下がっている。

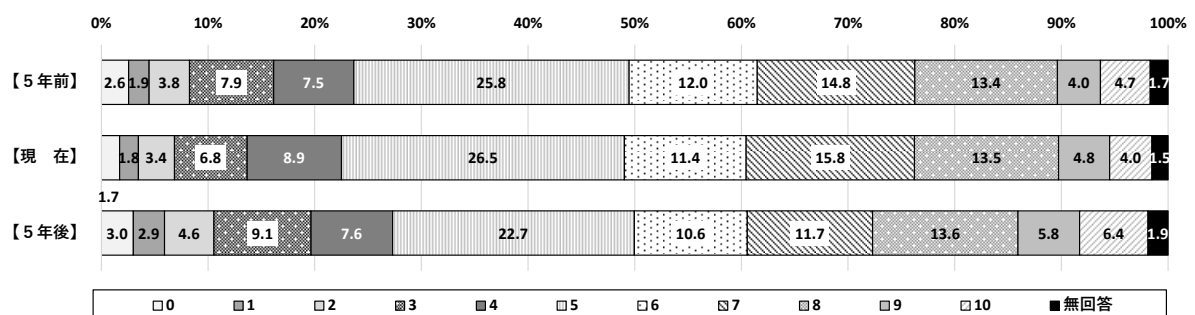
図表 13-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(全体)



【割合】

「5年前」「現在」「5年後」のいずれも中央値の「5」が最も高い。「6以上」の割合は、「5年前」から「現在」にかけて若干上向くが、「5年後」には下がり48.1%となっている。一方、「4以下」の割合は、「5年後」には27.3%と「現在」よりも4.8ポイント増加している。

図表 13-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(全体)

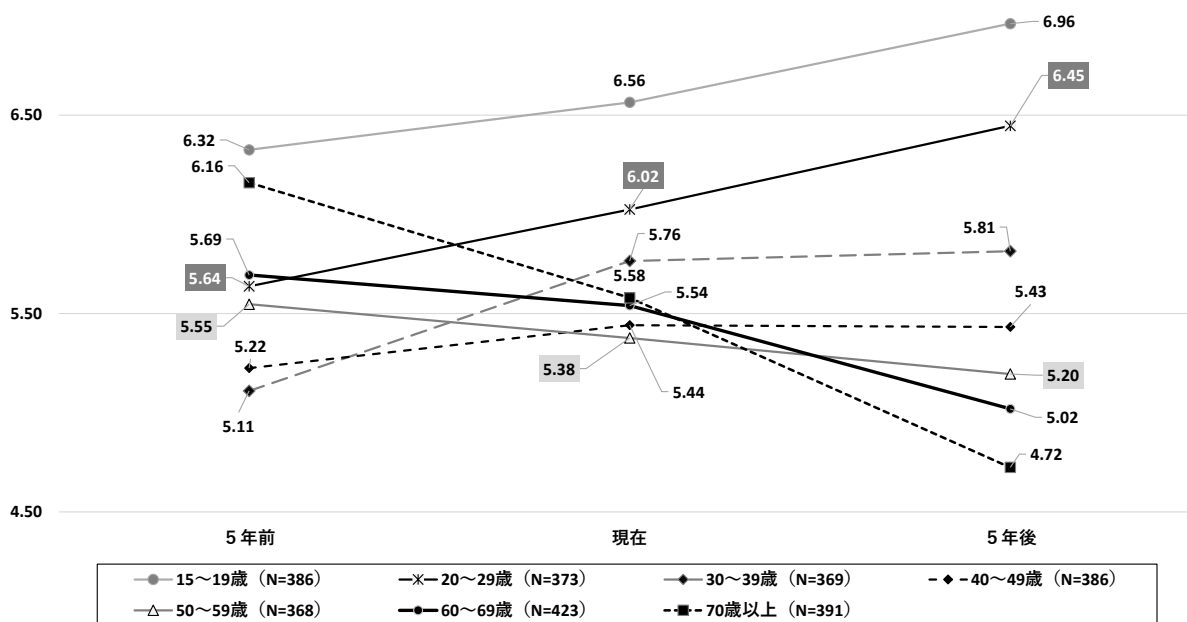


(2) 年齢別

【平均】

「15～19歳」は「5年前」の6.32から上向き傾向にあり、「5年後」には6.96と、どの年代よりも高い。30歳代以下は、「5年前」から上向き傾向となっている。一方、50歳代以上は「5年前」よりも「5年後」の方が低い水準となっている。

図表 13-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（年齢別）



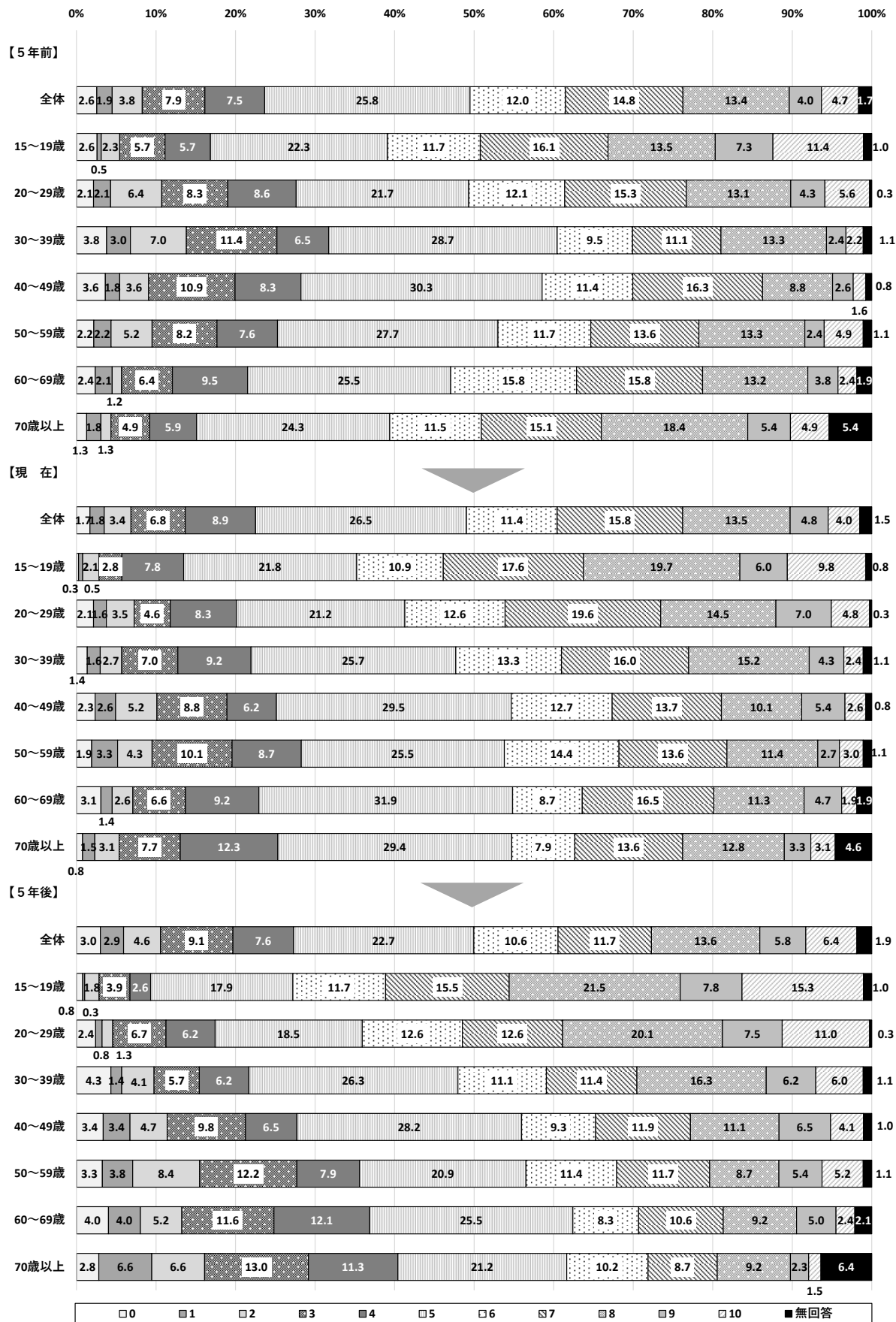
【割合】

「15～19歳」と「20～29歳」では、「5年後」において「8」が最も高く、その他の年代では中央値の「5」が最も高くなっている。

「5年後」において、「15～19歳」では「6以上」が7割を超えている。

「5年後」を見ると、「6以上」は年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向にあり、「70歳以上」では32.0%となっている。

図表 13-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（年齢別）

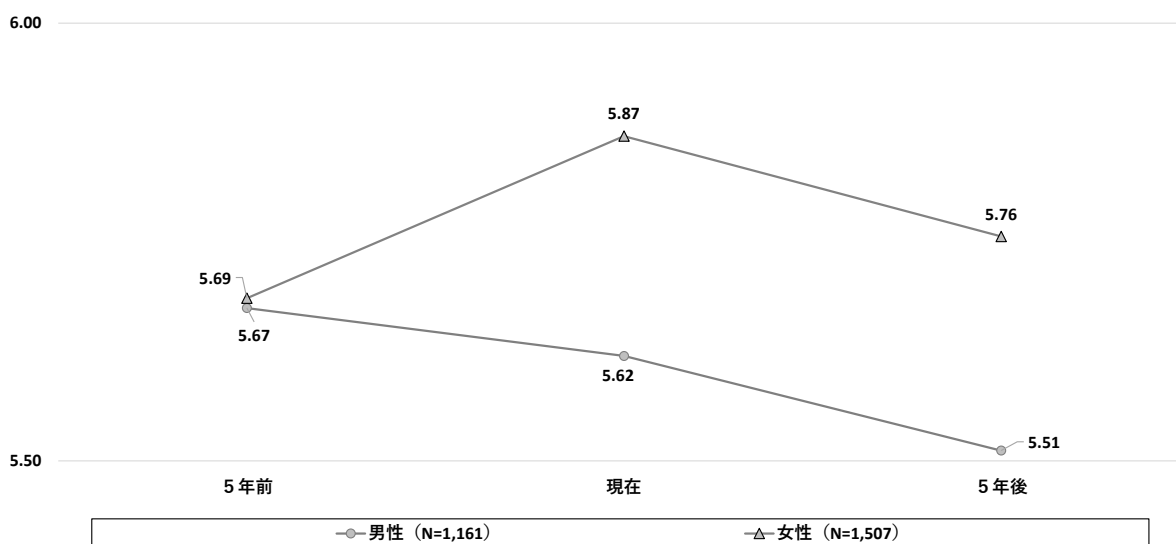


(3) 性別

【平均】

「男性」は「5年前」から下降傾向にある。「女性」は「現在」で一旦上がるものの、「5年後」には下がっている。また、「男性」より「女性」の方が高い傾向にある。

図表 13-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(性別)

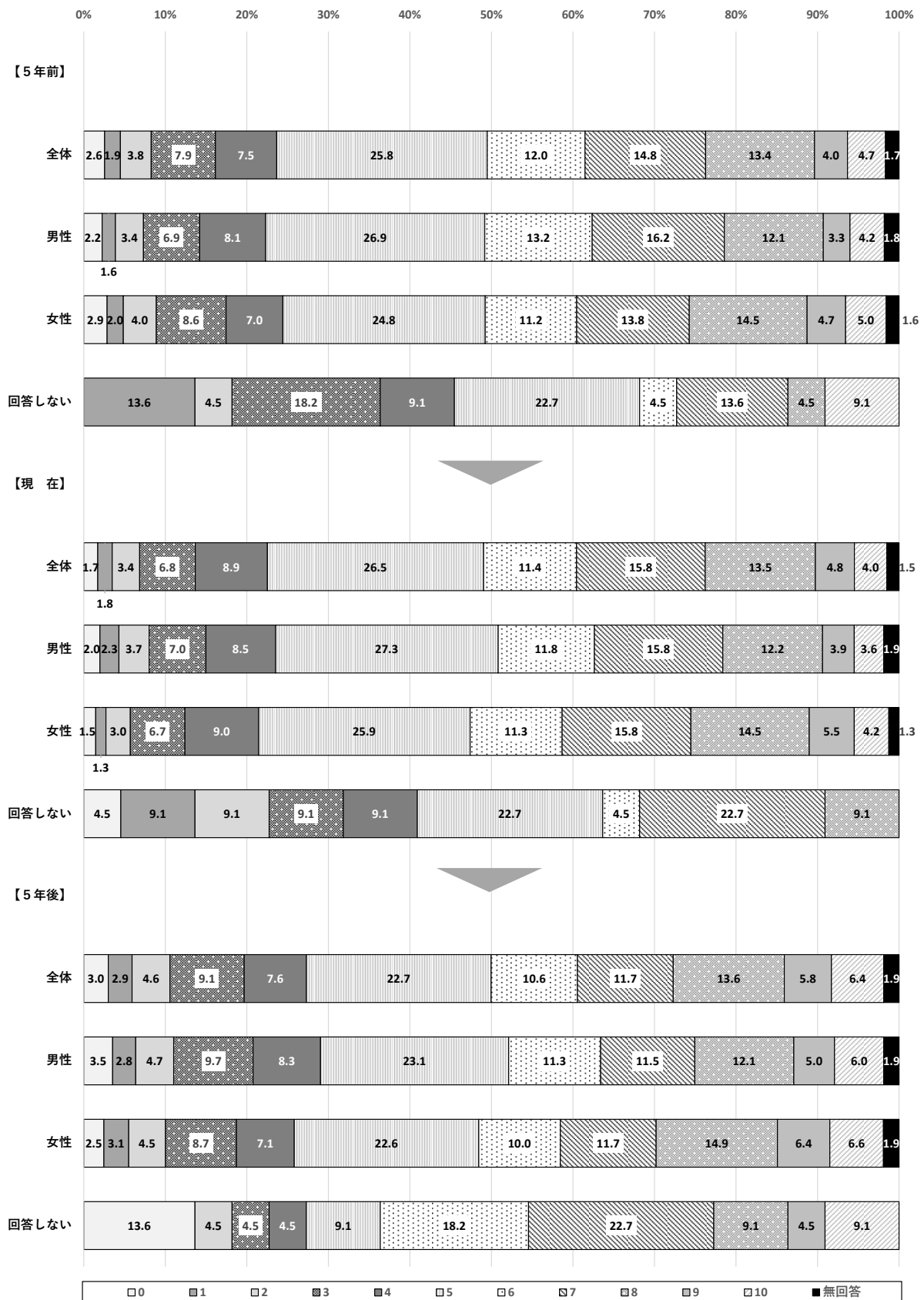


【割合】

男女ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」は、「5年前」は男女による差はないものの、「現在」からは「女性」の方が高くなり、「5年後」には「男性」の46.0%に対して「女性」が49.6%と3.6ポイント高い。

図表 13-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（性別）

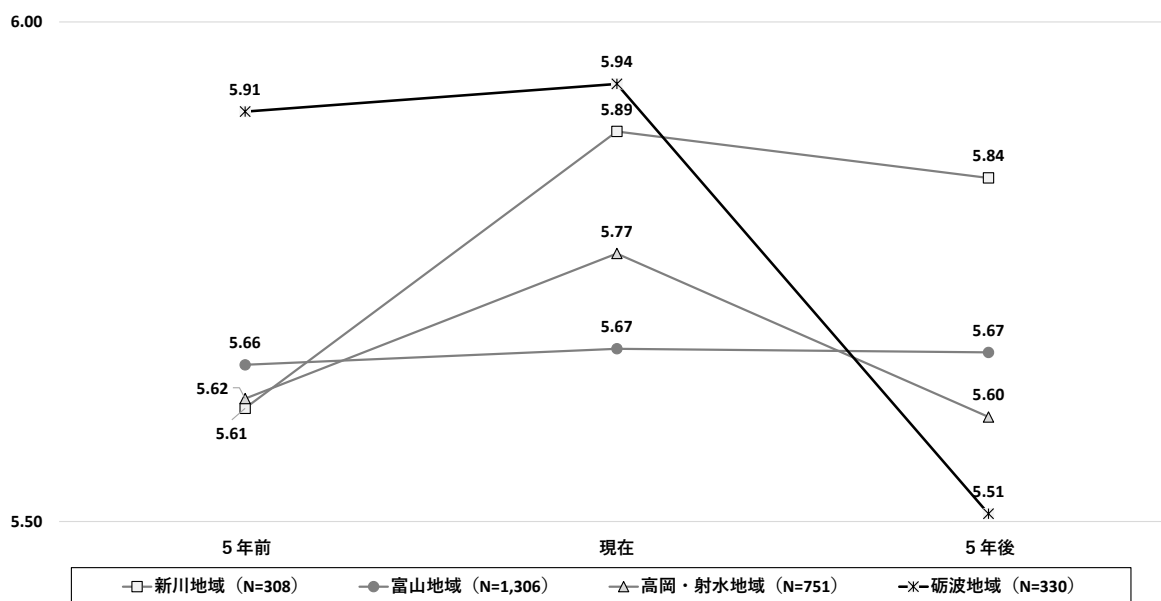


(4) - 1 地域別

【平均】

「富山地域」はほぼ横ばいで推移している。その他の地域は「現在」に一旦上がり、「5年後」には下がっている。特に、「砺波地域」の下がり幅が大きい。

図表 13-4-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(地域別)

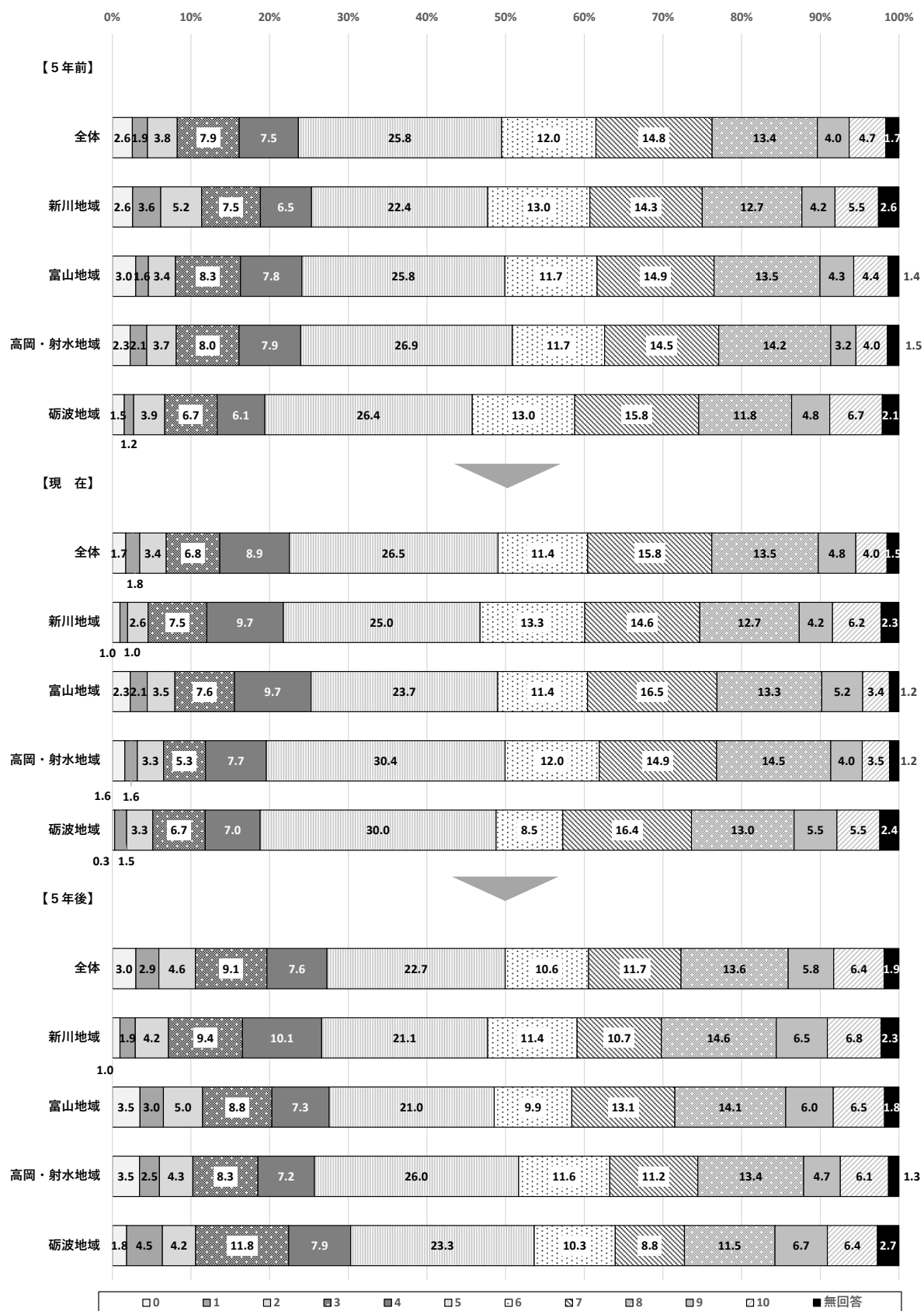


【割合】

すべての地域で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「5年後」の「6以上」を見ると、「砺波地域」で43.6%と、他の地域と比較して低くなっている。

図表 13-4-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（地域別）

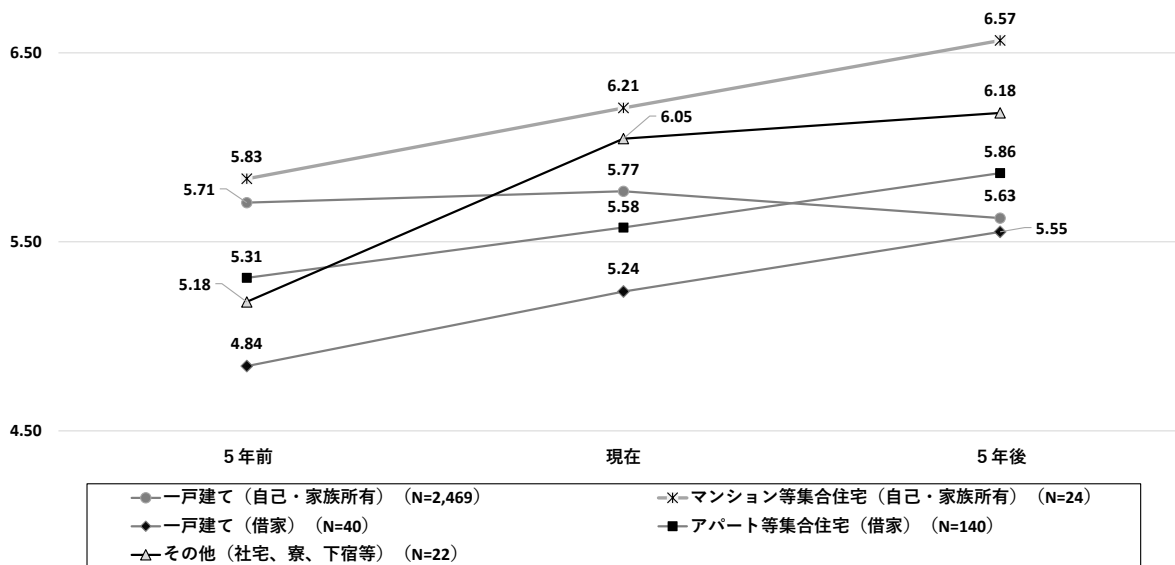


(4) - 2 現在の住居状況別

【平均】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「現在」に一旦上がり、「5年後」は5.63と若干下がっている。

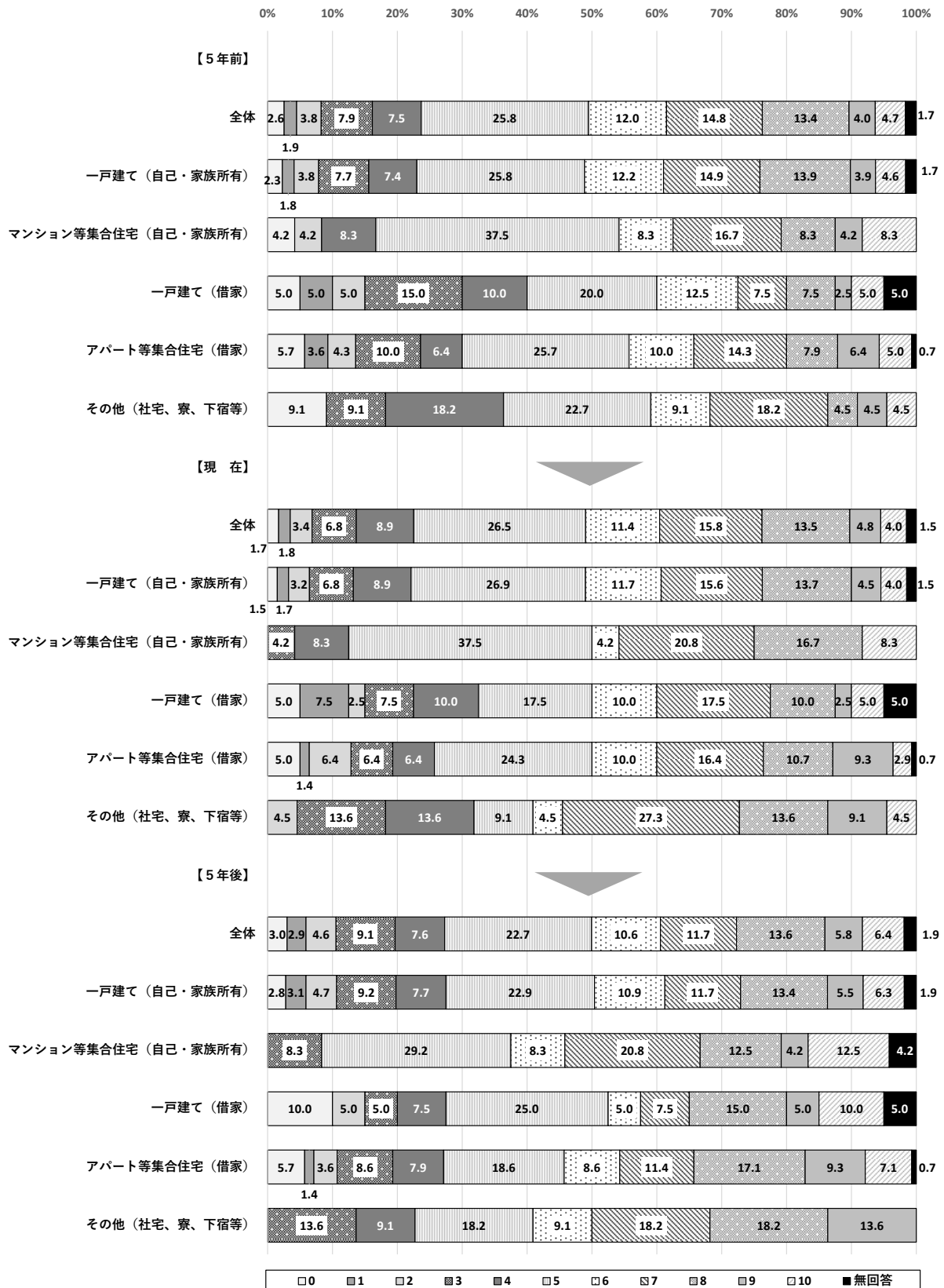
図表 13-4-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（現在の住居状況別）



【割合】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。「6以上」を見ると、「現在」は49.5%だが、「5年後」には47.8%と若干下がっている。

図表 13-4-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（現在の住居状況別）

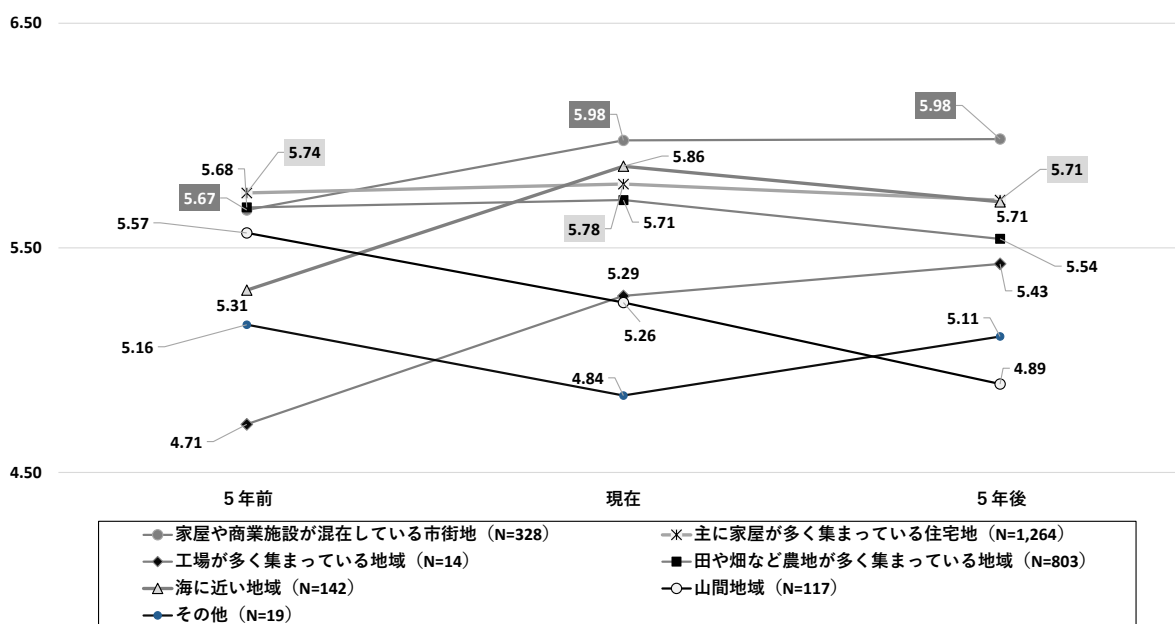


(4) - 3 現在の居住地環境別

【平均】

「家屋や商業施設が混在している市街地」では「現在」が 5.98 と、他の居住地環境よりも高くなっている。「山間地域」は「5 年前」の 5.57 から下降し、「5 年後」には 4.89 となっている。

図表 13-4-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(居住地環境別)

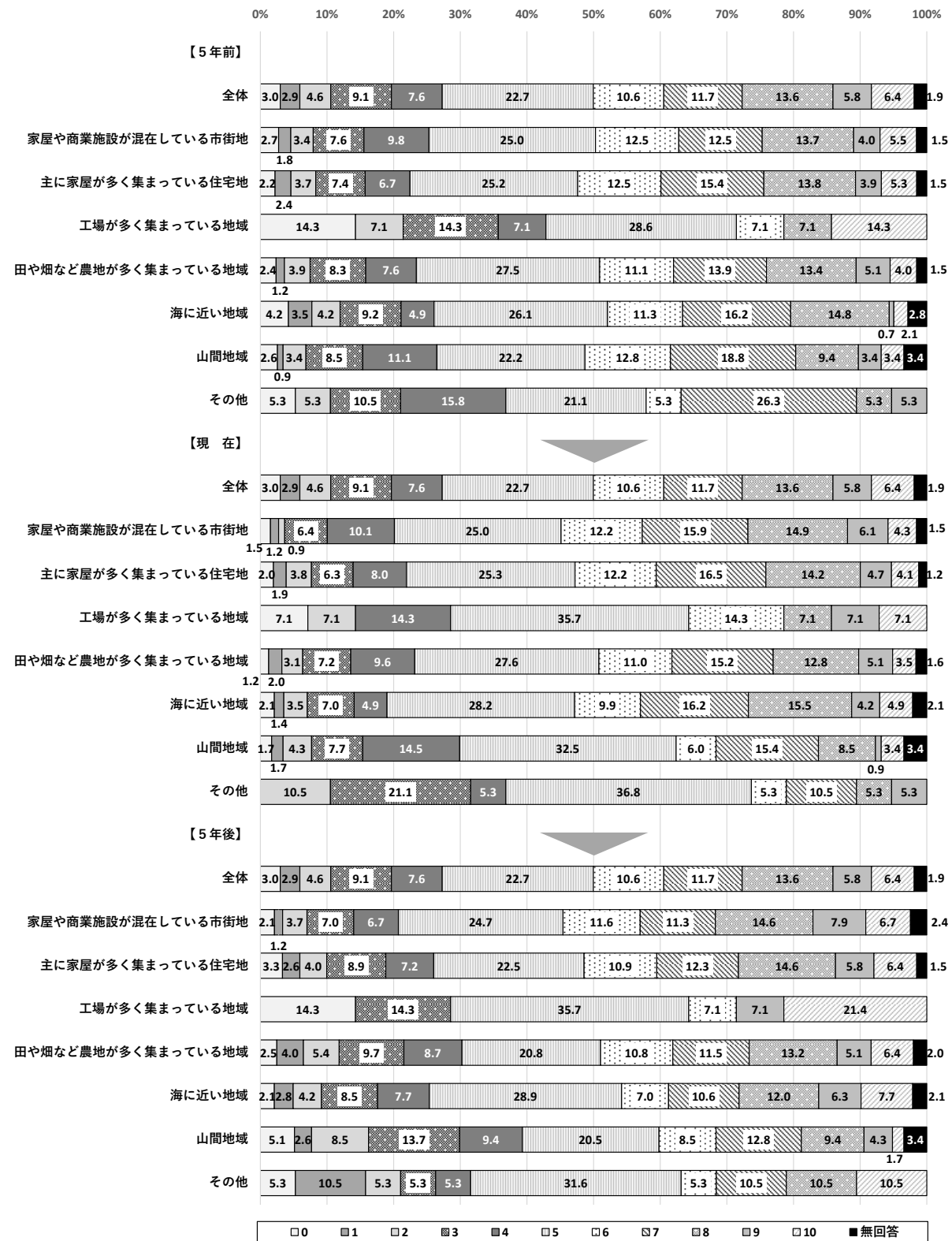


【割合】

どの居住地環境でも、「5 年前」「現在」「5 年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6 以上」を見ると、「海に近い地域」では「現在」は 50.7%だが、「5 年後」には 43.7%と、7 ポイント下がっている。また、「4 以下」を見ると、「山間地域」では「現在」は 29.9%だが、「5 年後」には 39.3%と、9.4 ポイント高くなっている。

図表 13-4-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（居住地域環境別）

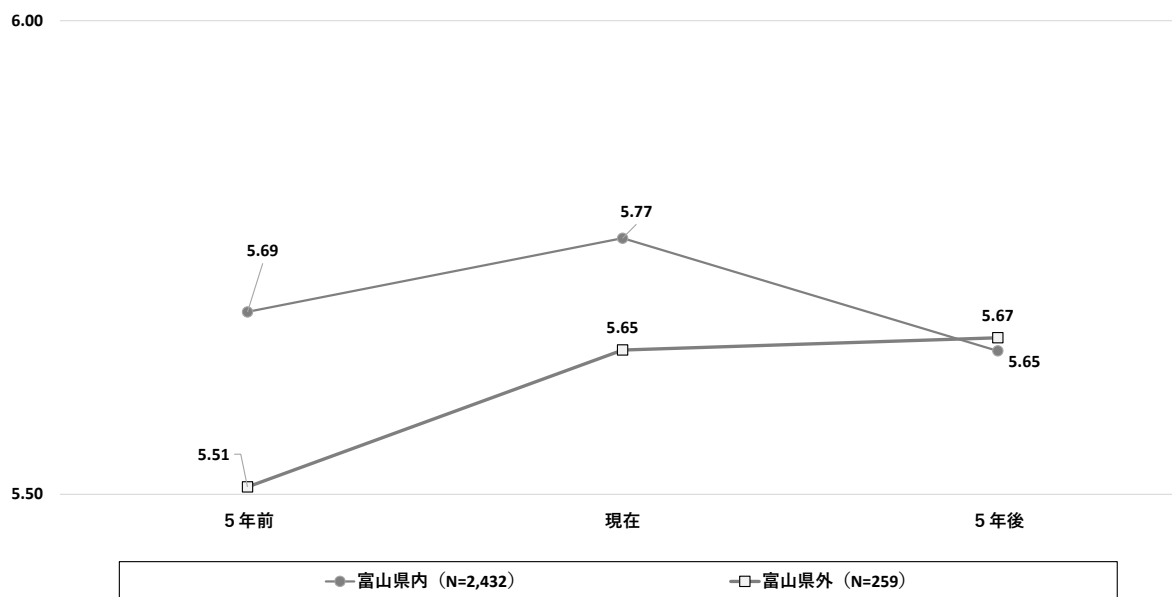


(4) - 4 出身地別

【平均】

「富山県外」は上向き傾向となってなり、「5年後」には5.67と「富山県内」(5.65)よりも若干上回っている。

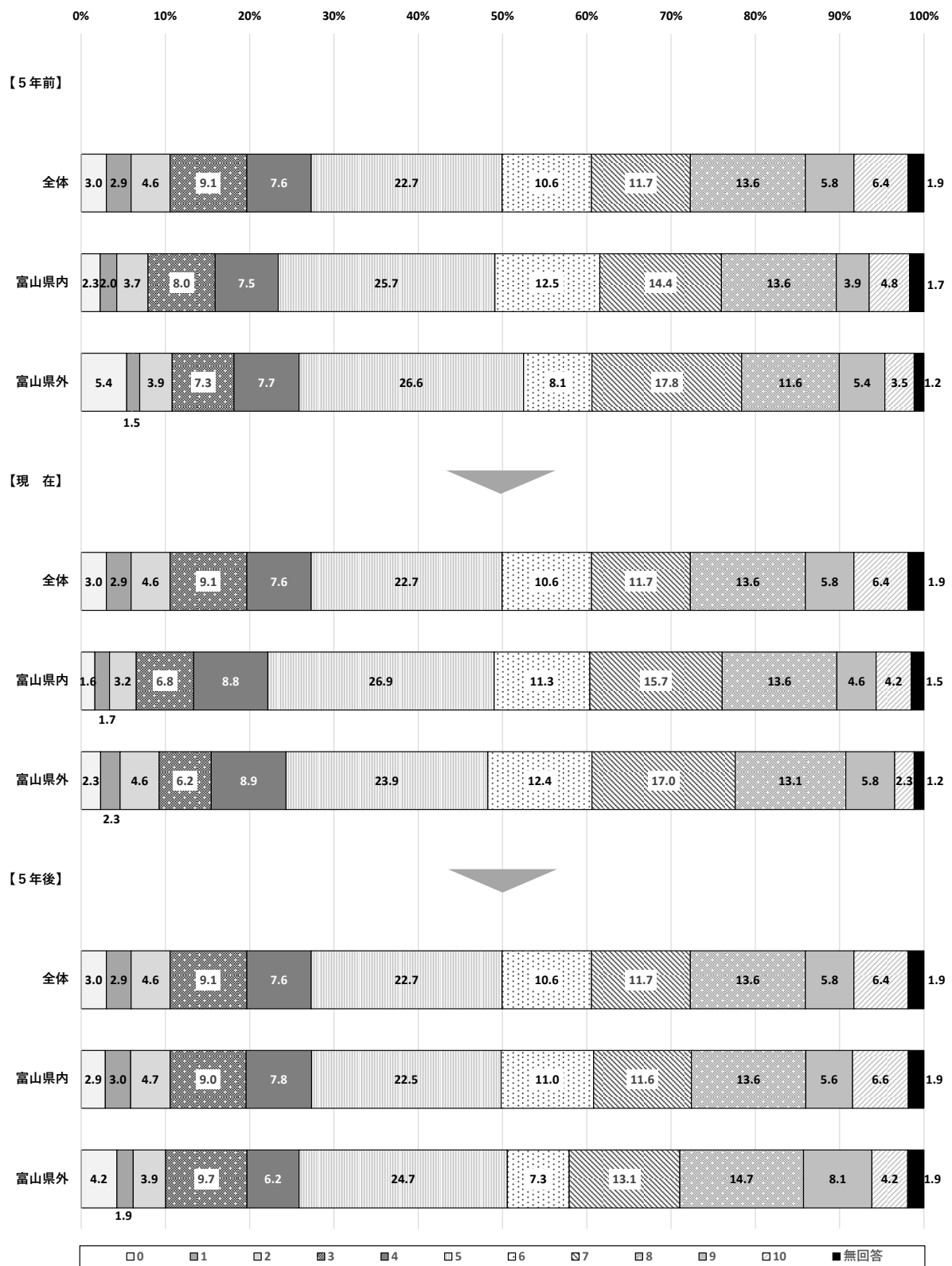
図表 13-4-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(出身地別)



【割合】

「富山県内」「富山県外」ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。「6以上」を見ると、「富山県外」では「現在」は50.6%だが、「5年後」には47.5%と、3.1ポイント下がっている。

図表 13-4-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（出身地別）

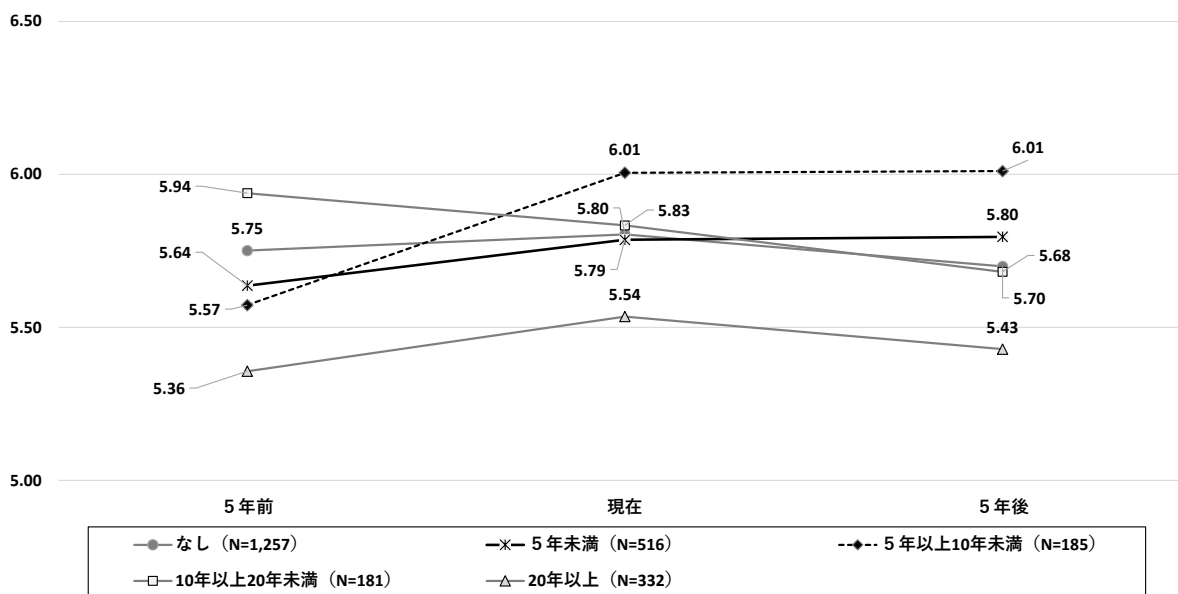


(4) - 5 県外での居住年数別

【平均】

「5年未満」と「5年以上10年未満」は若干の上向き、もしくは、横ばいとなっている。一方、「10年以上20年未満」は下降傾向にある。

図表 13-4-5 最も理想的な生活に対する評価【平均】(県外居住年数別)



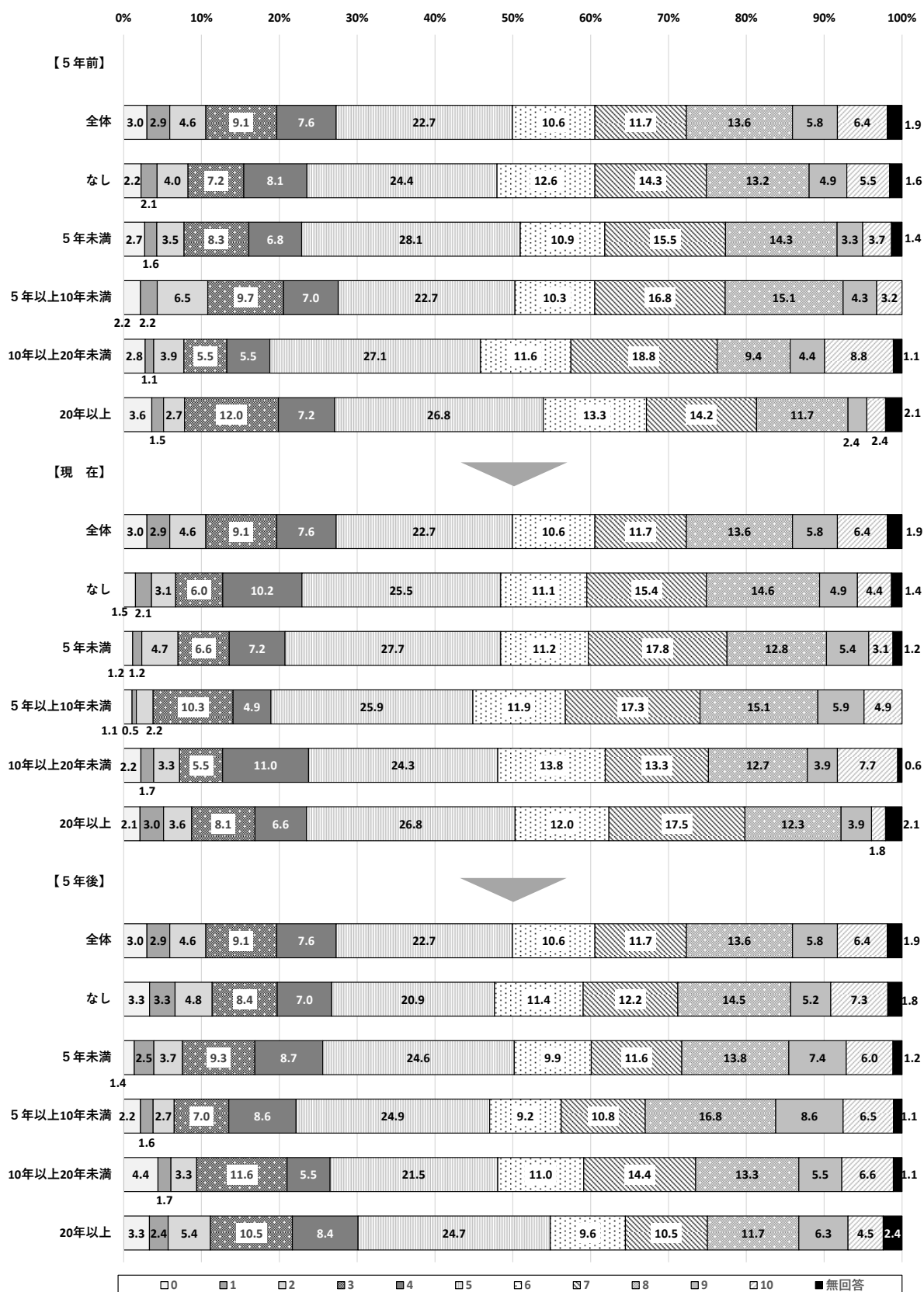
【割合】

どの居住年数でも、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「現在」の「6以上」を見ると、「5年以上10年未満」で55.1%と、他の居住年数と比較して高くなっている。

「5年後」では「20年以上」で42.8%と、他の居住年数よりも低くなっている。

図表 13-4-5 最も理想的な生活に対する評価【割合】（県外居住年数別）

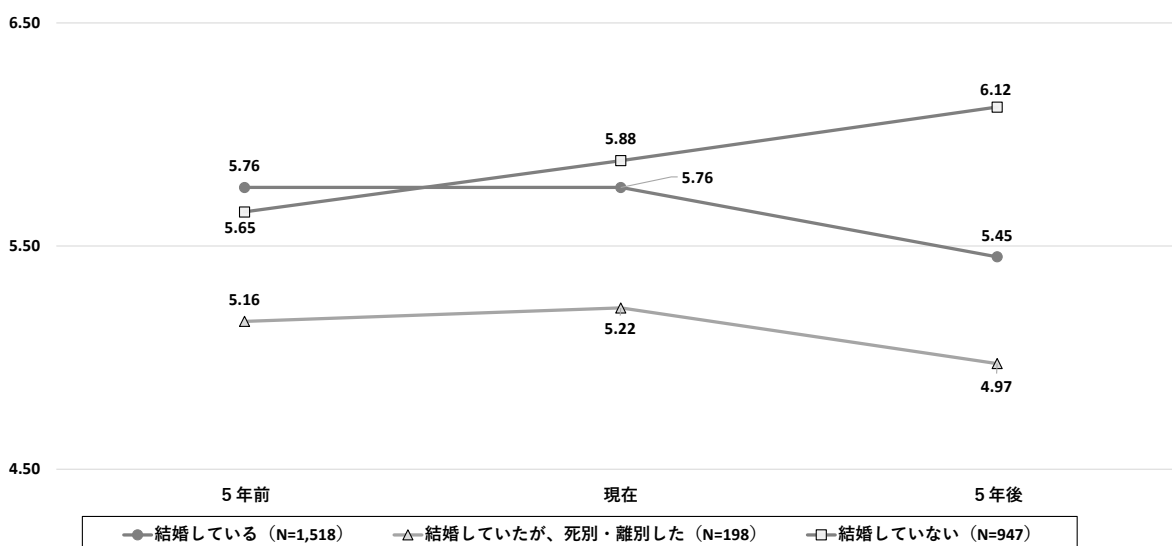


(5) - 1 結婚の有無別

【平均】

「結婚している」と「結婚していたが、死別・離別した」では、「現在」よりも「5年後」の方が下がっている。「結婚していない」は上向き傾向にあり、「5年後」には6.12となっている。

図表 13-5-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(結婚の有無別)

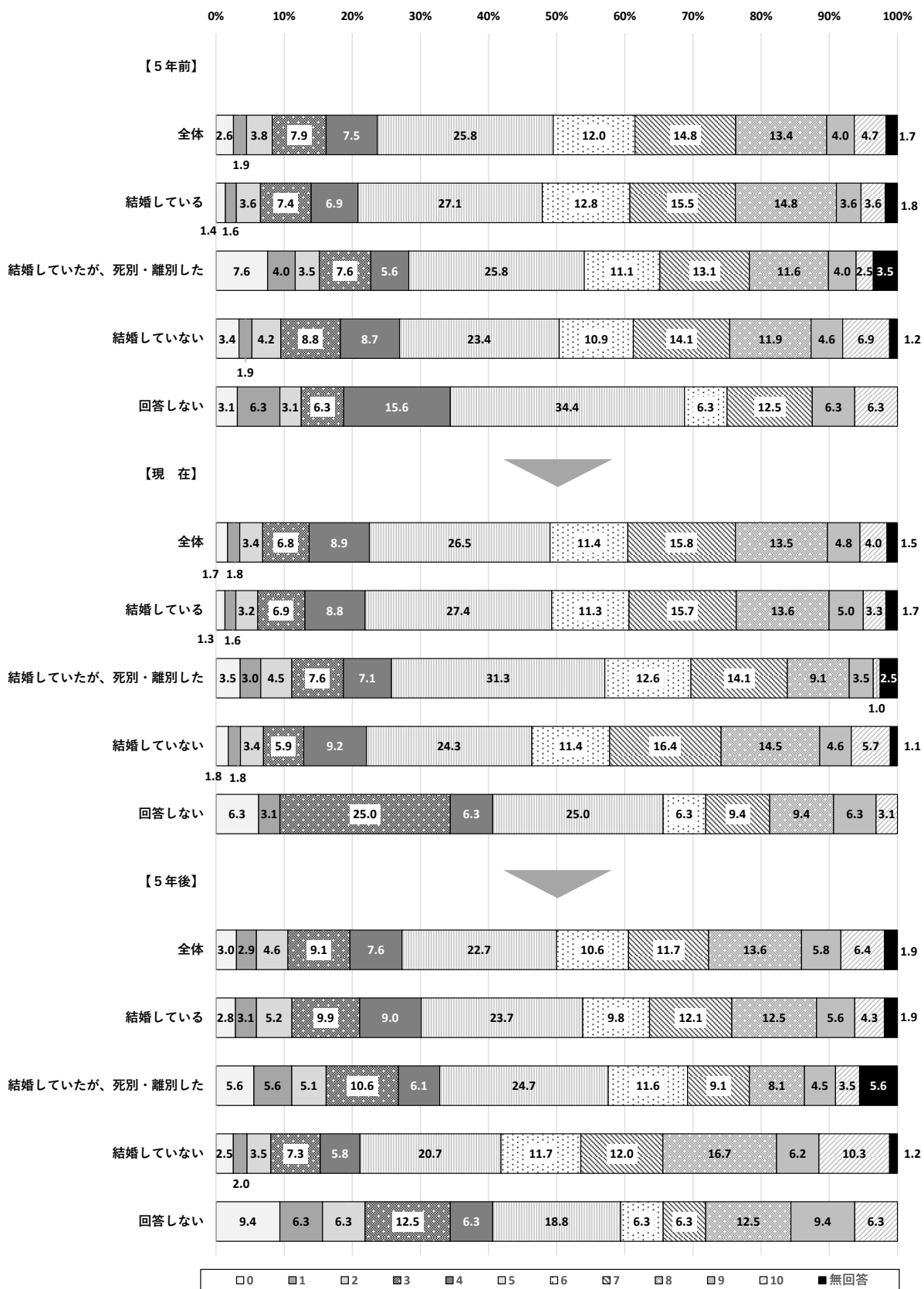


【割合】

どの属性も、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「5年後」の「6以上」を見ると、「結婚していない」では57.0%を占めている。

図表 13-5-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（結婚の有無別）

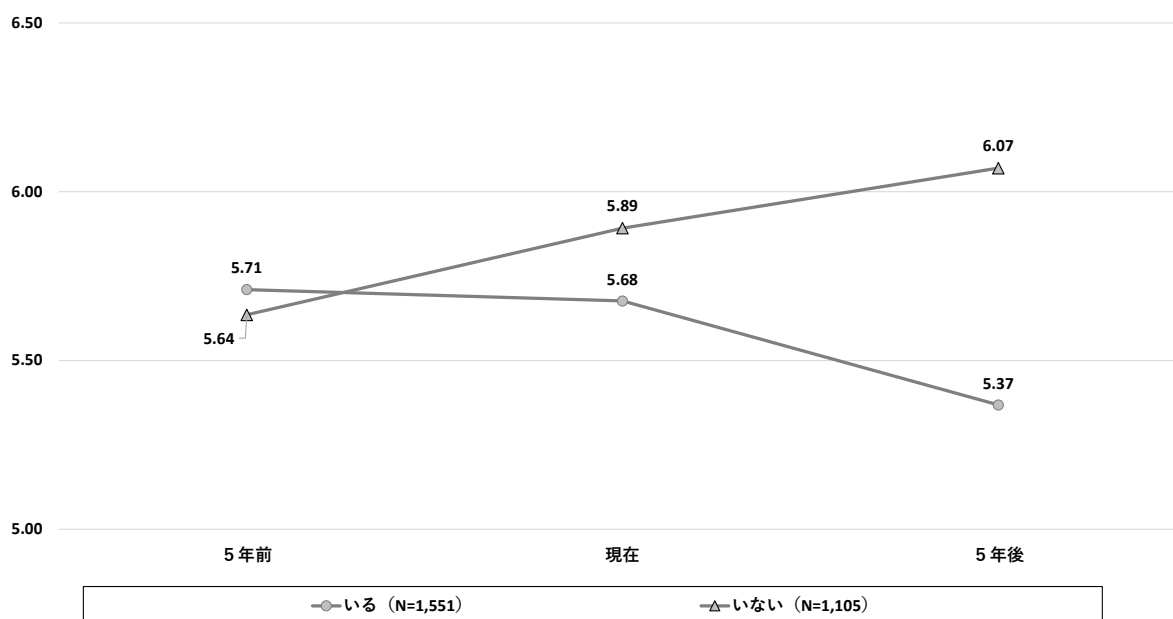


(5) - 2 子どもの有無別

【平均】

子どもが「いる」では下降傾向にあるが、子どもが「いない」では上向き傾向となっており、「5年後」には6.07となっている。

図表 13-5-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(子どもの有無別)

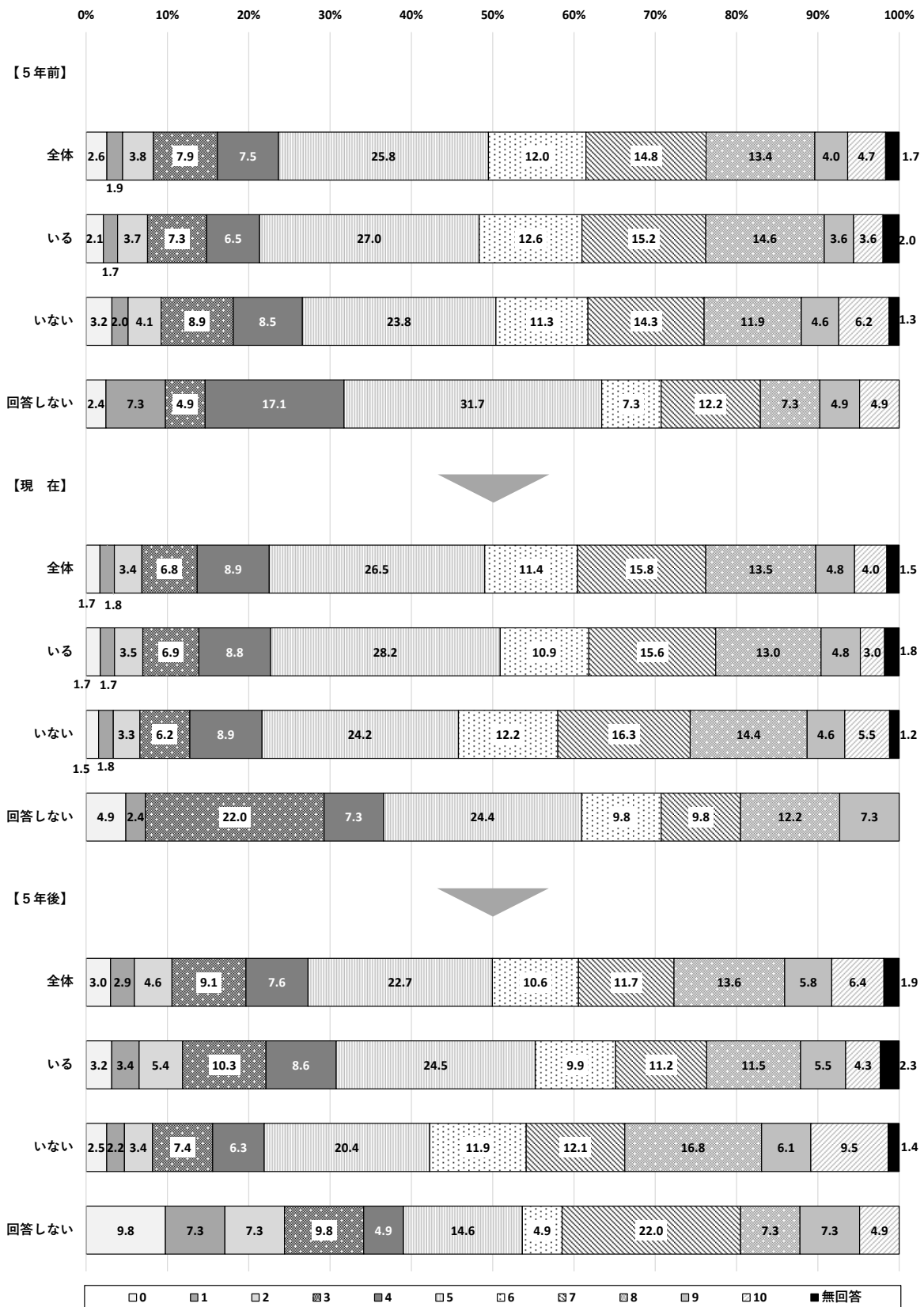


【割合】

子どもの有無に関わらず、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、子どもが「いない」では「現在」は53.0%だが、「5年後」には56.4%となり若干上向き傾向にある。

図表 13-5-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(子どもの有無別)

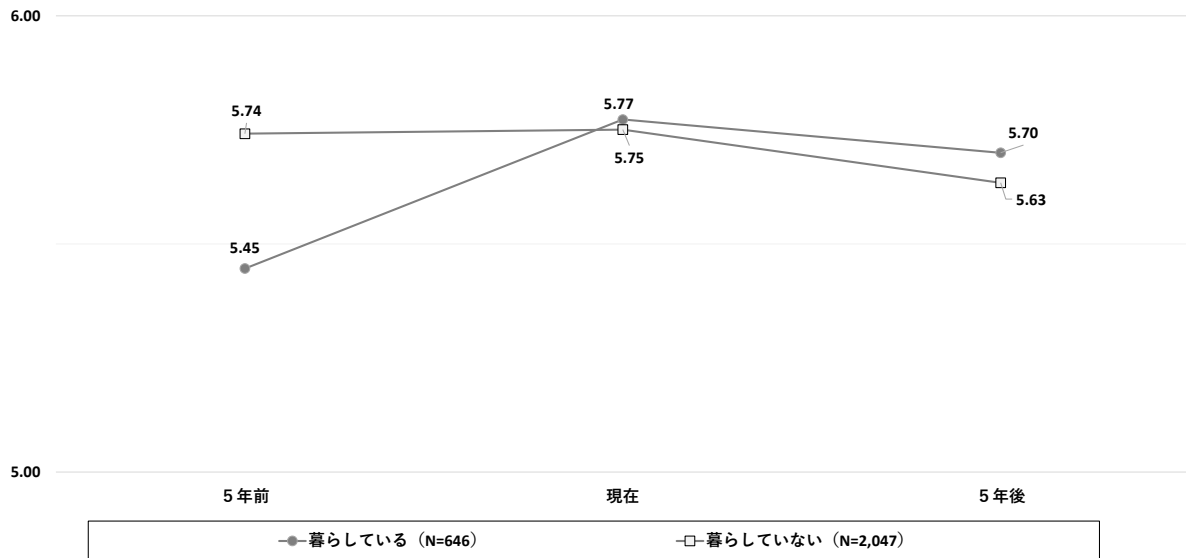


(5) - 3 ペットの有無別

【平均】

「5年後」には、ペットと「暮らしている」「暮らしていない」ともに「現在」よりも下がっている。

図表 13-5-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(ペットの有無別)

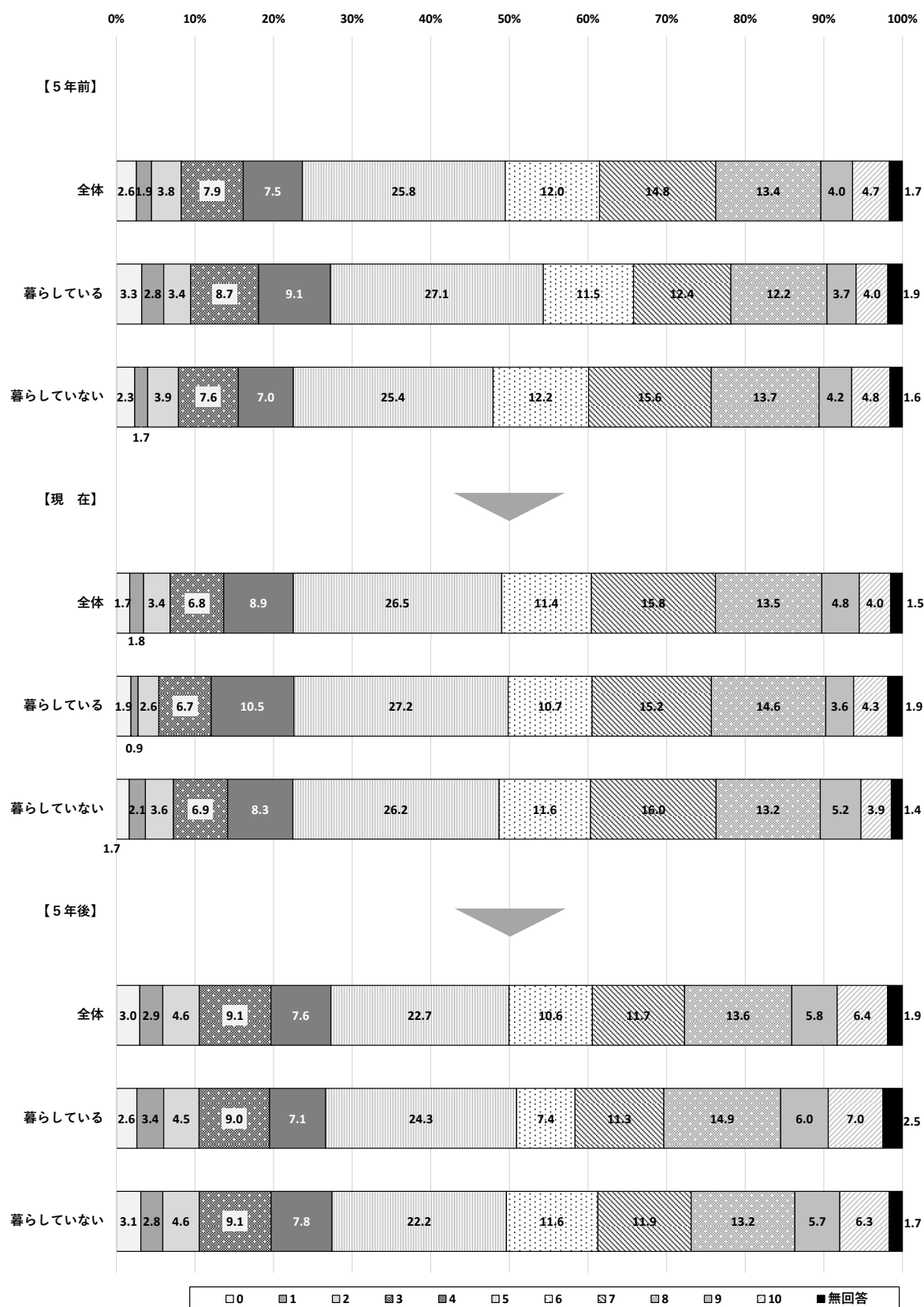


【割合】

「暮らしている」「暮らしていない」ともに、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」「5年後」ともに、ペットの有無による大きな差は見られない。

図表 13-5-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（ペットの有無別）

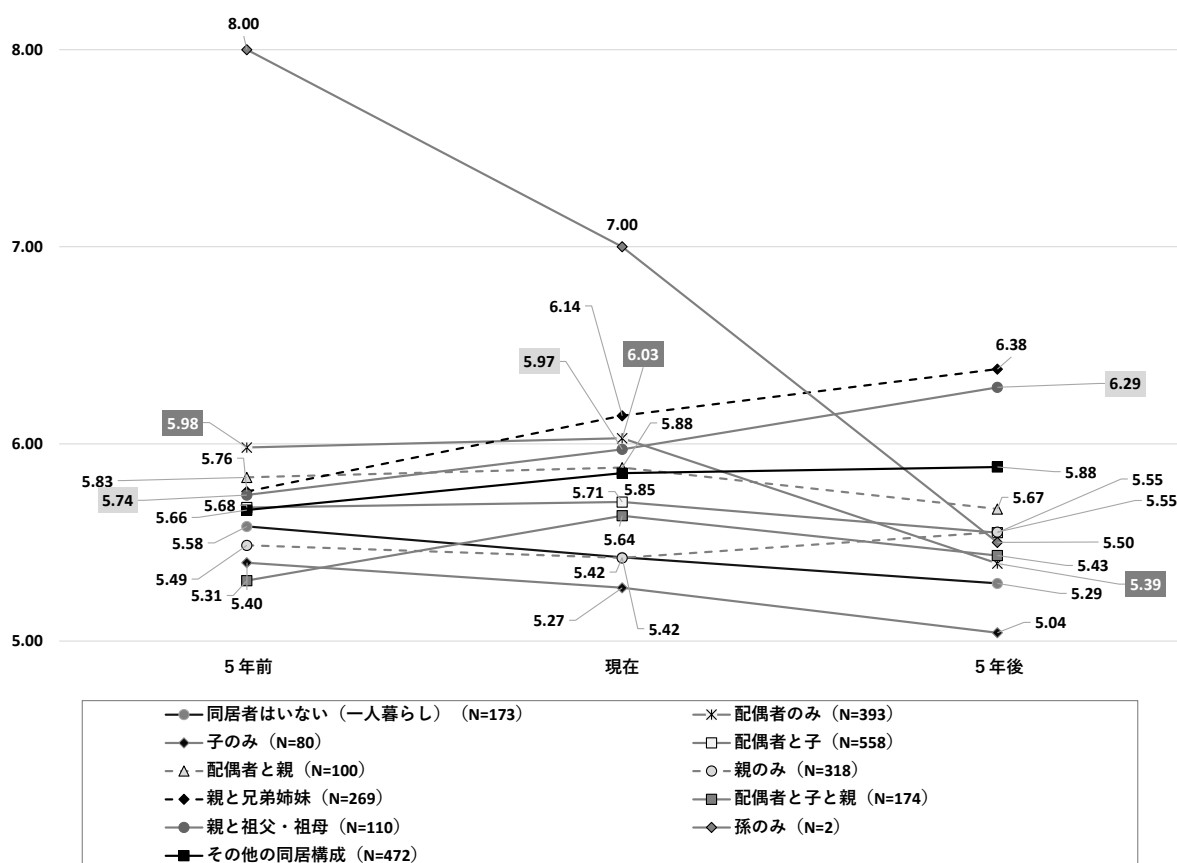


(5) - 4 同居家族の構成別

【平均】

「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」では「5年後」に6.00を超えている。「同居者はいない(一人暮らし)」「子のみ」では「5年前」から下降傾向となっている。

図表 13-5-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(同居家族構成別)

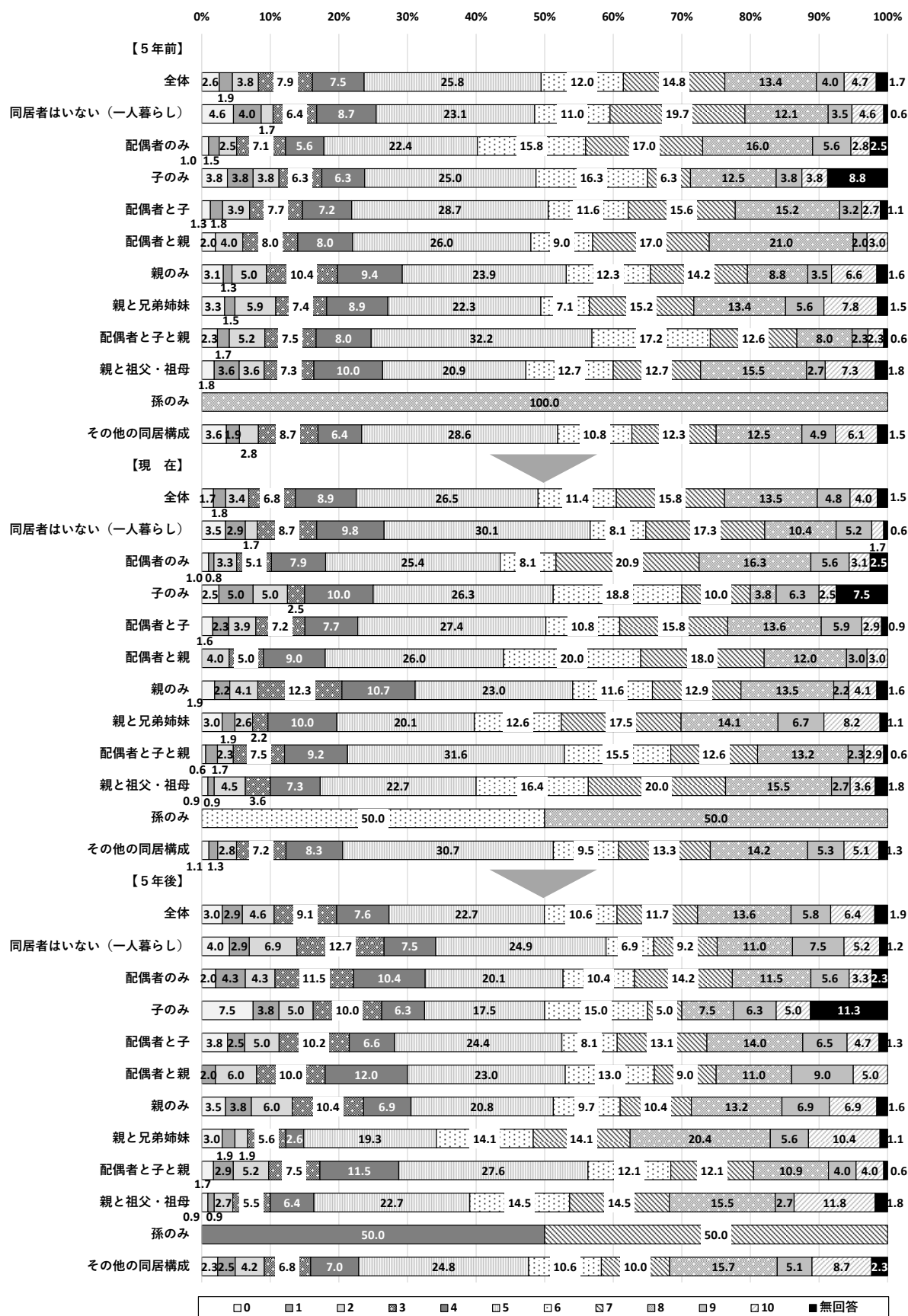


【割合】

「親と兄弟姉妹」を除くすべての家族構成で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」では「配偶者のみ」「配偶者と親」「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」で5割を超えている。「5年後」では「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」「その他の同居構成」で5割以上となっている。

図表 13-5-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（同居家族構成別）

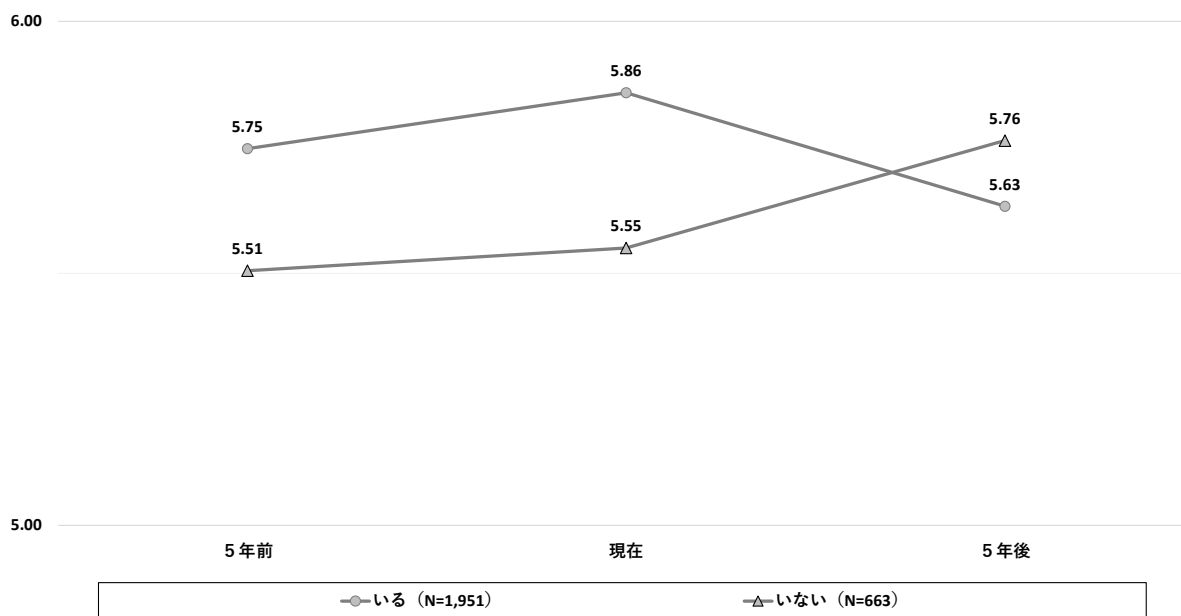


(5) - 5 別居親族の有無

【平均】

別居親族が「いる」では、「現在」(5.86)よりも「5年後」(5.63)の方が低い。一方、「いない」では上向き傾向にあり、「5年後」には5.76と、「いる」よりも上回っている。

図表 13-5-5-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(別居親族の有無別)

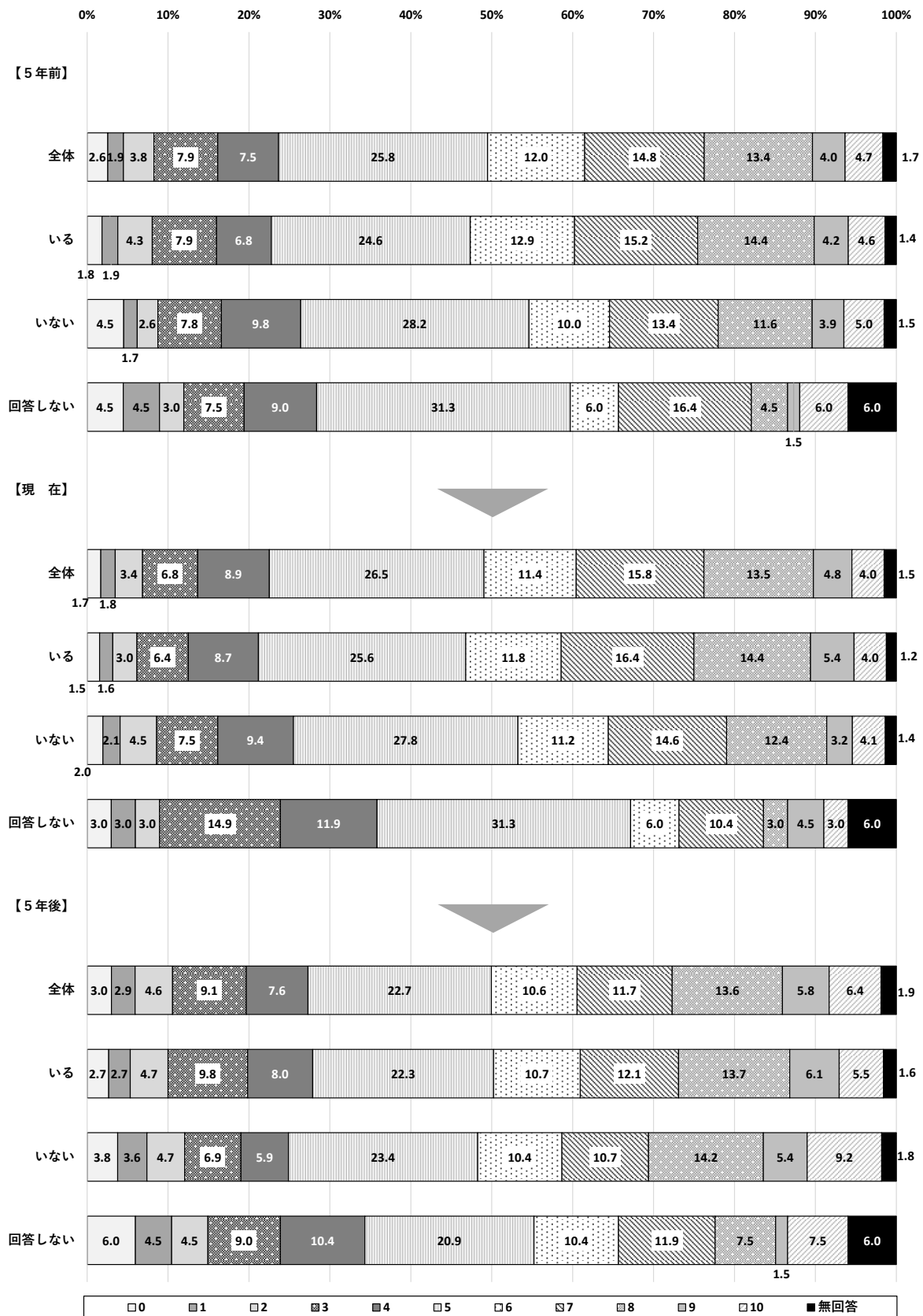


【割合】

すべての属性で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「いない」では「現在」は45.4%だが、「5年後」には49.9%となり若干上向き傾向にある。

図表 13-5-5-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（別居親族の有無別）

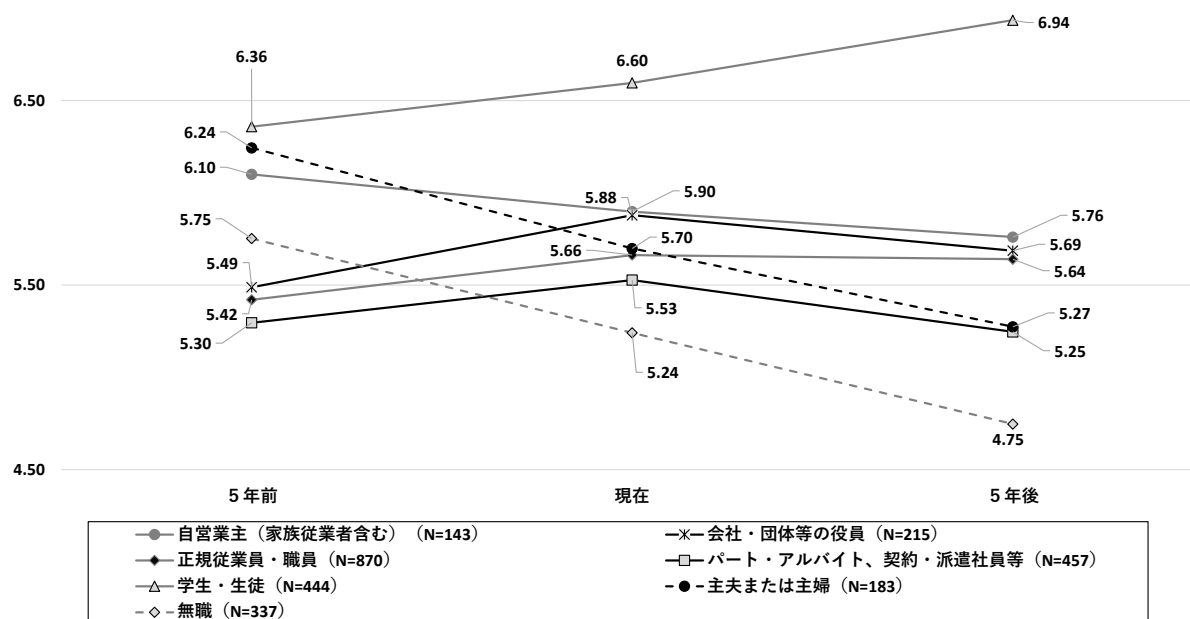


(6) - 1 職業別

【平均】

「学生」は上向き傾向となっており、「5年後」には6.94となっている。一方、「主夫または主婦」と「無職」は、「5年前」から下降傾向にあり、「無職」では「5年後」には4.75となっている。

図表 13-6-1-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(職業別)

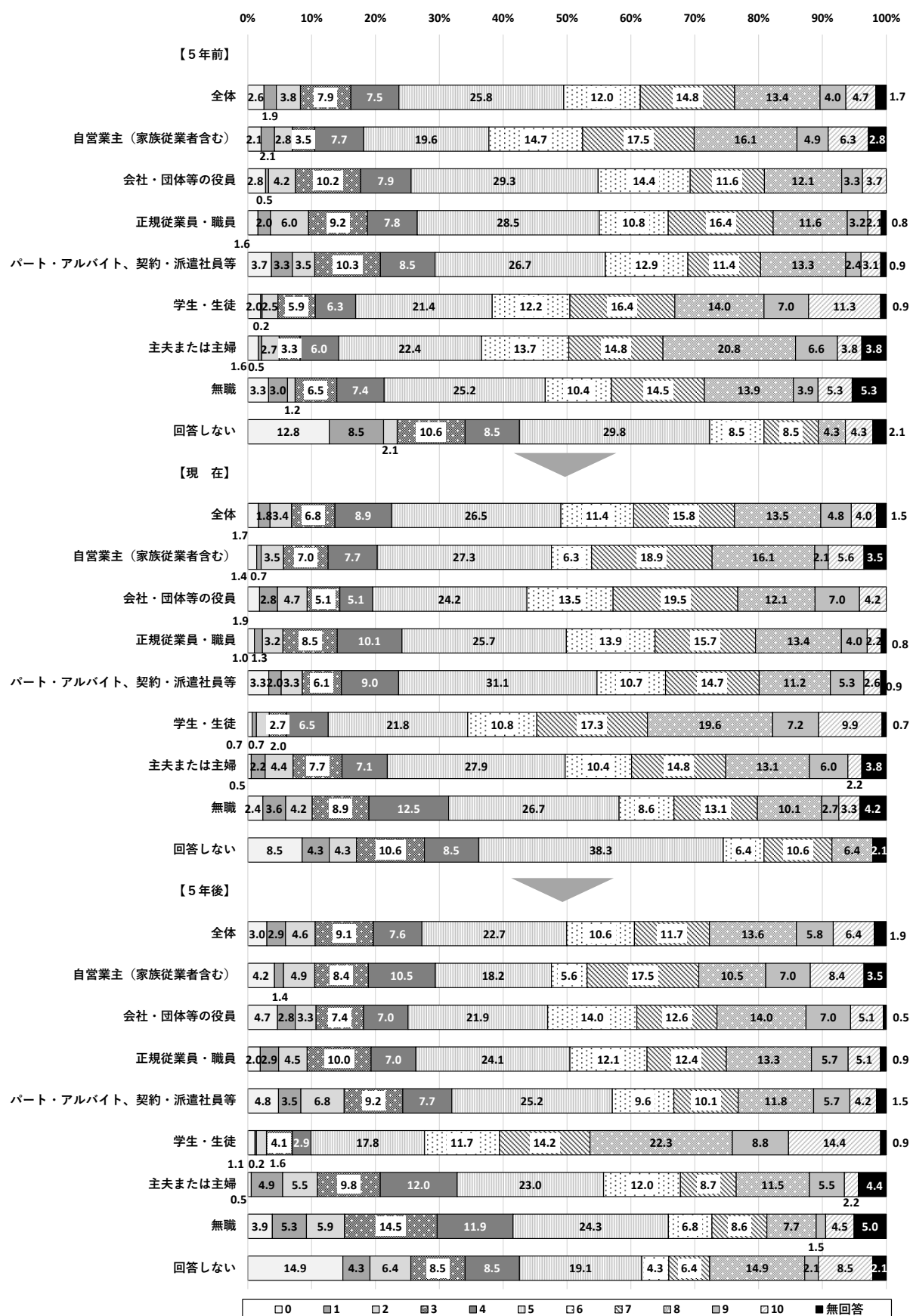


【割合】

「学生・生徒」では「5年後」において「8」が最も高くなっている。その他の職業では、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「5年後」は「会社・団体等の役員」と「学生・生徒」で5割を超えており、特に「学生・生徒」は71.4%と高い割合を占めている。一方、「5年後」の「無職」は「4以下」が41.5%と「6以上」(29.1%)を12.4ポイント上回っている。

図表 13-6-1-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（職業別）

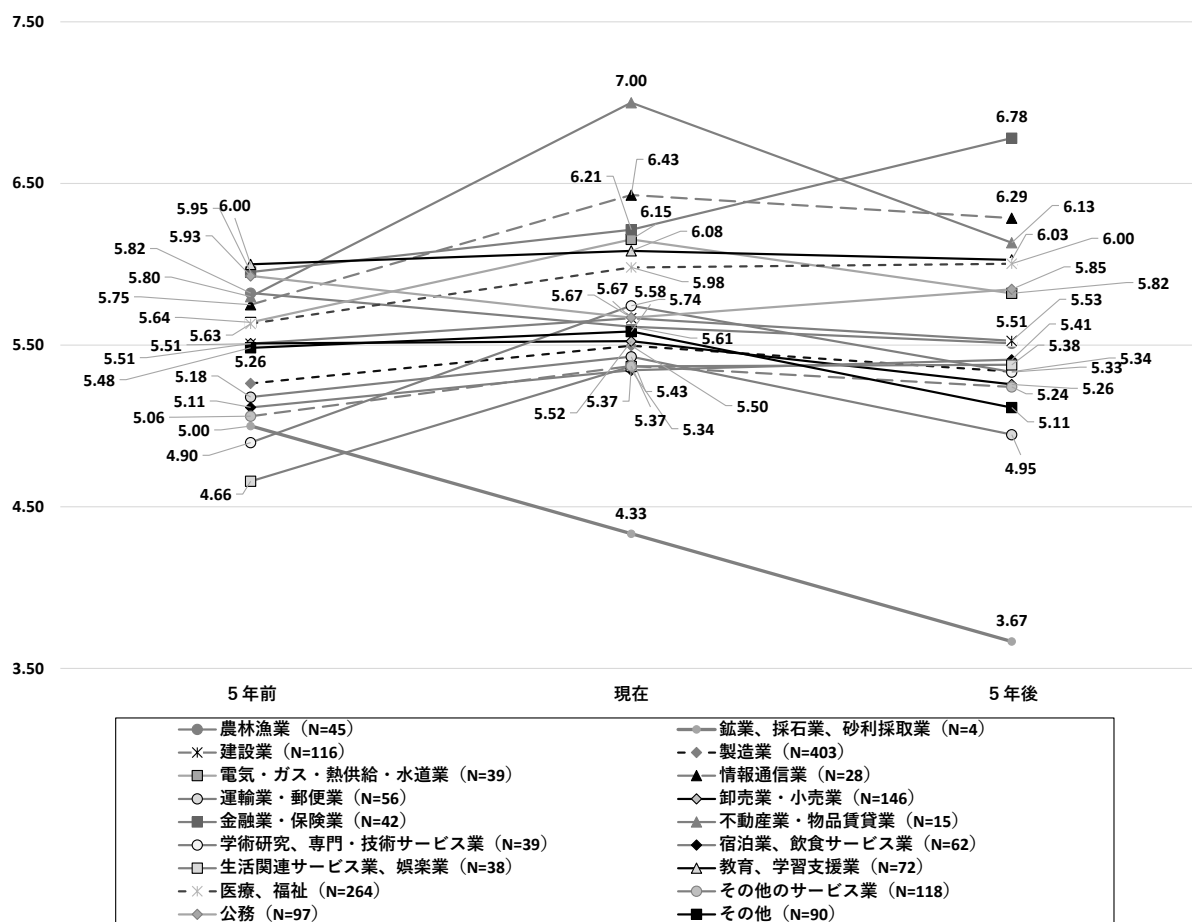


(6) - 2 職業分野別

【平均】

「金融業・保険業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「医療、福祉」では「5年前」から上向き傾向となっている。一方、「農林漁業」では「5年前」から下降傾向にあり、「5年後」には5.51になっている。また、「運輸業・郵便業」は「5年後」には4.95になっており、他の職業分野よりも低くなっている。

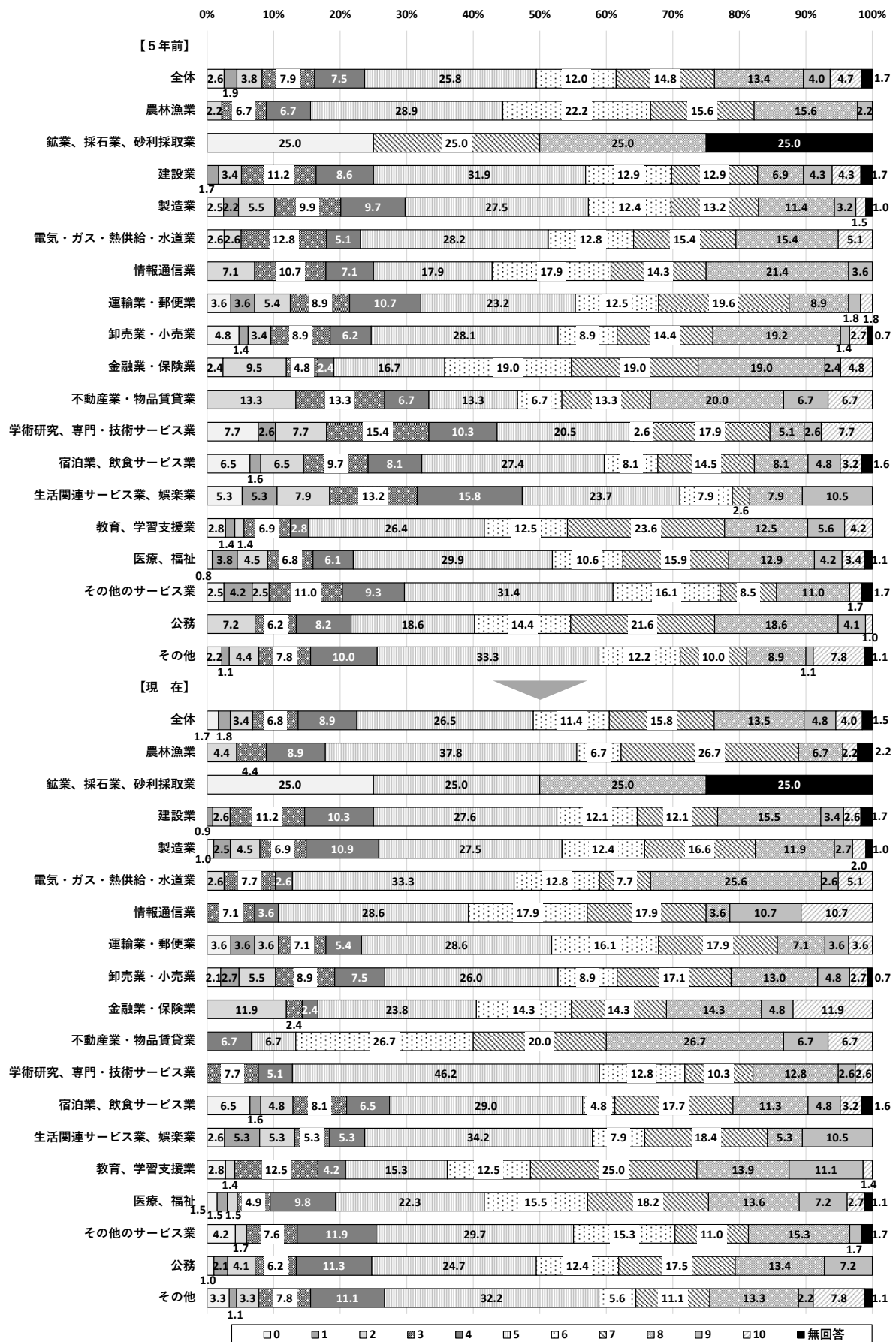
図表 13-6-2-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】（職業分野別）

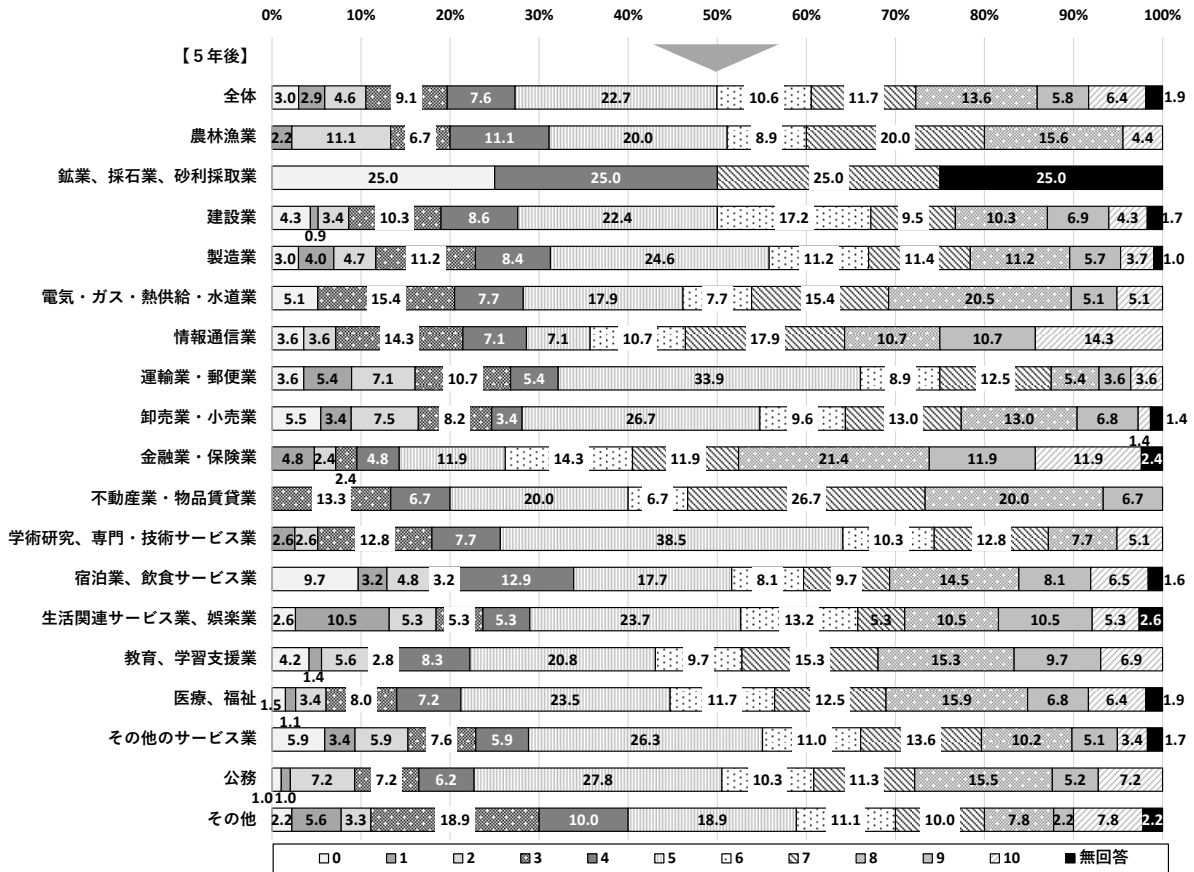


【割合】

「5年後」の「金融業・保険業」では「8」が21.4%と最も高く、そのため「6以上」も71.4%と高い割合を占めている。一方、「5年後」の「農林漁業」「製造業」「運輸業・郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」では「4以下」が3割を超えている。

図表 13-6-2-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】（職業分野別）



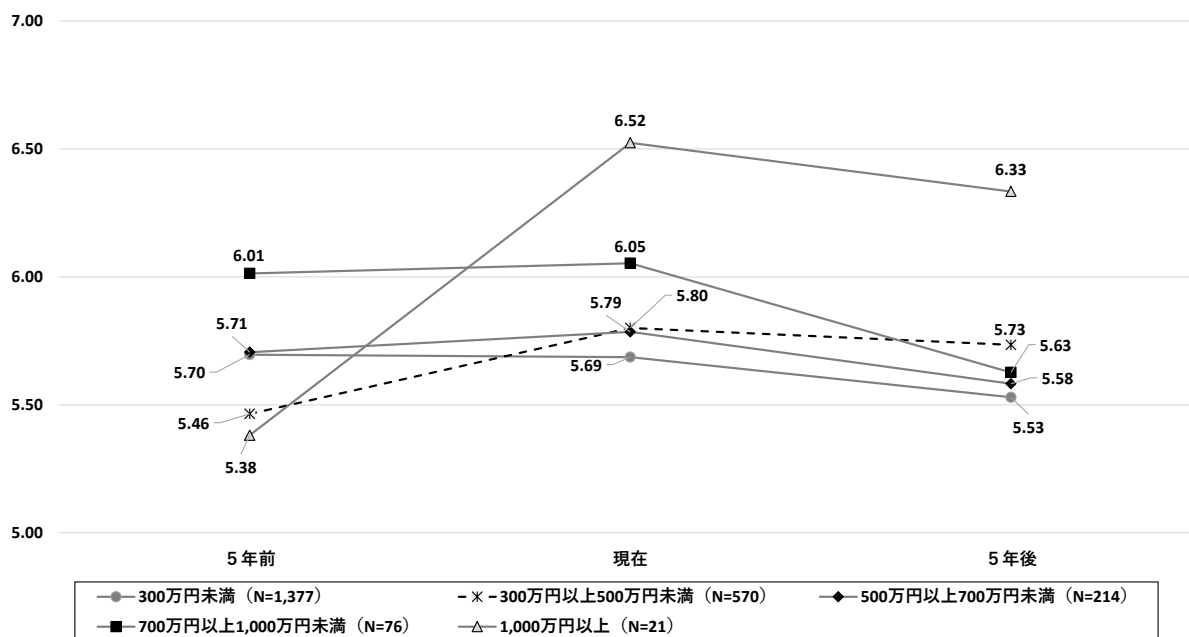


(6) - 3 年収別

【平均】

概ね「現在」よりも「5年後」の方が下がっている傾向がある。「300万円未満」では、「5年前」から下降傾向にあり、「5年後」は5.53となっている。

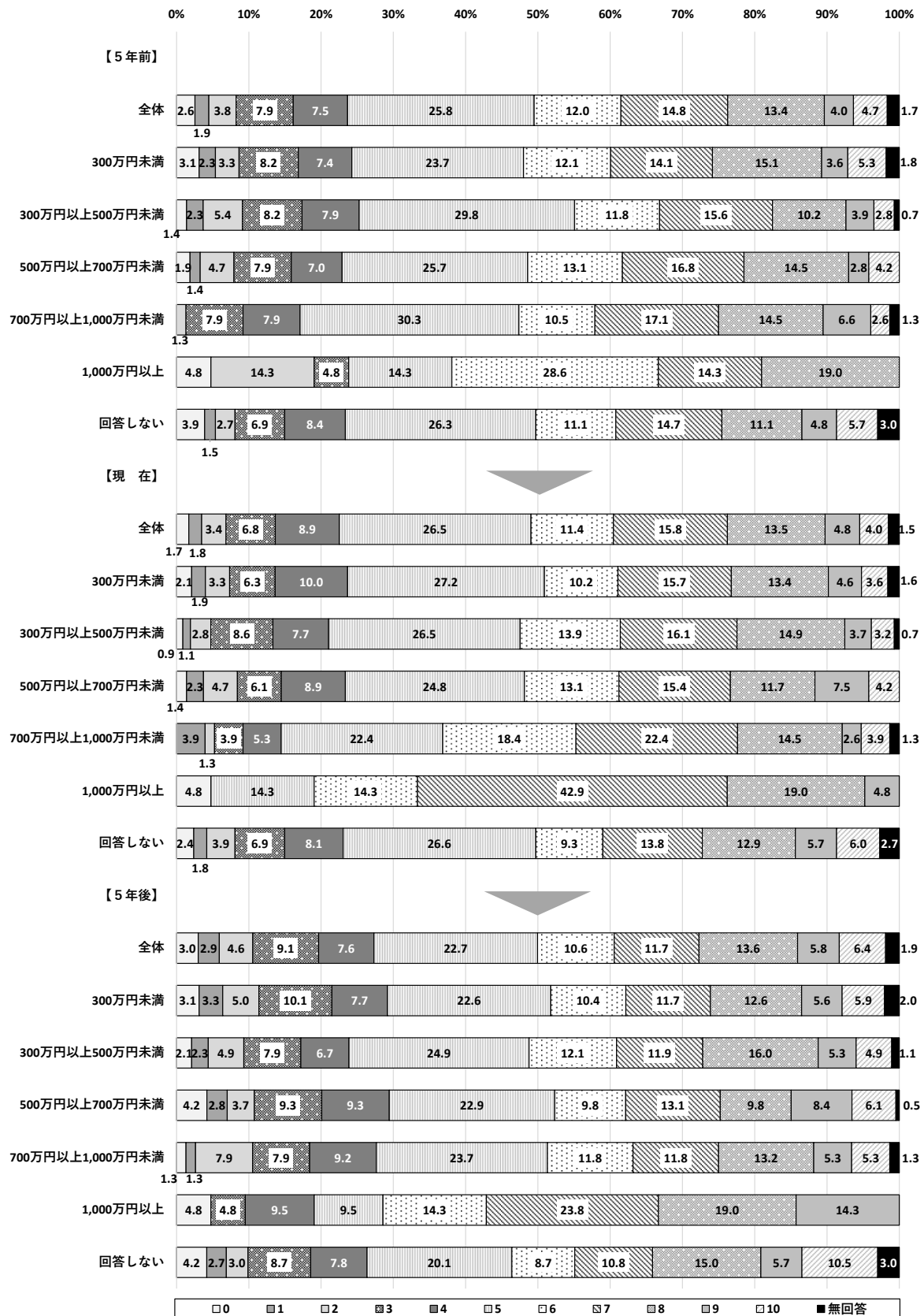
図表 13-6-3-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(年収別)



【割合】

「6以上」を見ると、「現在」では300万円以上で5割を超えているものの、「5年後」では5割を超えているのは「300万円以上500万円未満」だけとなっている。

図表 13-6-3-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(年収別)

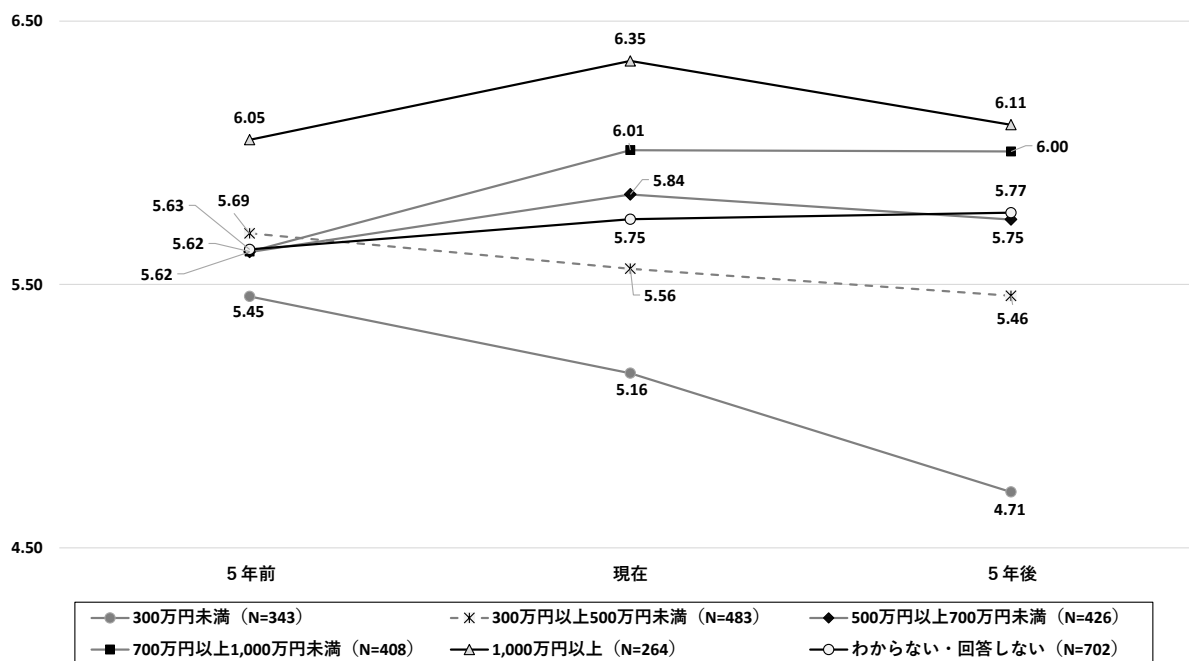


(6) - 4 世帯年収別

【平均】

「300万円未満」では「5年前」の5.45から下降傾向にあり、「5年後」には4.71となっている。また、「300万円以上500万円未満」でも「5年前」の5.69から緩やかに下降している。

図表 13-6-4-1 最も理想的な生活に対する評価【平均】(世帯年収別)



【割合】

すべての世帯年収で、「5年前」「現在」「5年後」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「現在」では500万円以上で5割を超えており、「1,000万円以上」では65.5%を占めている。また、「5年後」でも500万円以上で5割を超え、「1,000万円以上」では57.6%を占めている。一方、「300万円未満」では「4以下」が41.1%を占め、「6以上」(30.0%)を11.1ポイント上回っている。

図表 13-6-4-2 最も理想的な生活に対する評価【割合】(世帯年収別)

